



茨城県

平成22年度

事業概要

茨城県立こども福祉医療センター

こども福祉医療センター運営基本方針

- ◎ 一人ひとりの児童の権利を尊重し、心身ともに健やかに育成されるよう、最も効果的な療育の実現をめざします。
- ◎ センターの主役は児童であることを認識し、知識・技術の研鑽に努め、あたたかな環境づくりを進めます。
- ◎ 家族の方々とのコミュニケーションを大切にし、信頼されるセンターづくりをめざします。
- ◎ 水戸養護学校及び地域社会との連携を密にし、安全な環境の中で、生き生きとした生活ができるよう支えていきます。

茨城県立こども福祉医療センター

肢体不自由児施設

○施設の概要

運営主体	茨城県
開設年月日	昭和36年1月20日
定員	160名(単独150名, 母子10名) ただし, H22.4.1から103床を休床中
施設長名	堀田秀樹
居室	1~13人部屋 28室 内訳 ベッド:17室, 畳:11室
苦情解決体制	苦情解決責任者 堀田 秀樹 苦情受付担当者 中島 敏雄 第三者委員 田村 純六 岸野 勉

○職員構成

☆職員数 81人(嘱託5人)

施設長	医師	看護職員	薬剤師	診療放射線技師
1(医師)	3(嘱託2)	35	1(嘱託1)	1
理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	心理判定員	栄養士
6	4	1(嘱託1)	1	1
児童指導員	保育士	事務職員	その他	
2	7	5	13(嘱託1)	

○施設紹介

☆施設の紹介

児童福祉法に基づく肢体不自由児施設であるとともに医療法上の病院でもあり, 上肢・下肢又は体幹の機能に障害のある児童のための施設です。

一定期間入所又は外来で必要な医療・訓練を行い, 社会参加のための知識・技能を与えることを目的としています。また, 手術による改善も行っています。

☆事業内容

入所児は必要な医療と訓練(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)を行うばかりでなく, 就学児は学校生活, 未就学児は保育生活を送り, 社会性と知識の向上をめざしています。

外来では身体障害と合併するその他の障害(てんかん・知的障害)に対してもその克服に向けて必要な医療・訓練を行っています。発達全般に関わる相談も受けています。

短期入所は常時利用していただけます。

○施設の生活

☆年間スケジュール

就学児は学校行事に準じて、未就学児は保育行事に準じて季節ごとにセンター内外の生活を楽しくしています。

秋にはお楽しみ会があり、庭でゲームや飲食をしながら、楽しい一日を過ごします。

12月のクリスマス会にはボランティアの方々による演奏があります。

合同お誕生会では、ゲームや食事会を行います。

☆一日のスケジュール

6時30分 起床

7時15分 朝食

訓練・保育 学校生活

12時20分 昼食

訓練・保育 学校生活

17時30分 夕食

20時00分 就寝(幼児)

21時00分 就寝(学齢児)

入浴は 原則週4回

○利用案内

☆契約入所案内

① 入所利用契約について

利用者(保護者)と当センターが入所契約を結んで肢体不自由児施設入所サービスを受けることとなります。

② 受給者証申請について

利用者が当センターと契約を結ぶためには、児童相談所へ障害児施設給付費・障害児施設医療費の支給申請をし、支給決定を受けることが必要です。

③ 利用者負担について

原則1割の定率負担となりますが、世帯の所得に応じての上限管理があります。マル福医療福祉費受給者証受給者は、障害児施設給付費・障害児施設医療費受給者証に記載される負担額のうち障害児施設医療分について助成されます。なお、日常生活用品等の自己負担があります。

☆その他利用できるサービス

① 短期入所

最寄りの市町村へ障害福祉サービス(短期入所)受給者証の支給申請をし、支給決定を受けてから当センターと利用契約を結び利用していただきます。なお、この事業は生活支援のみのサービスとなります。

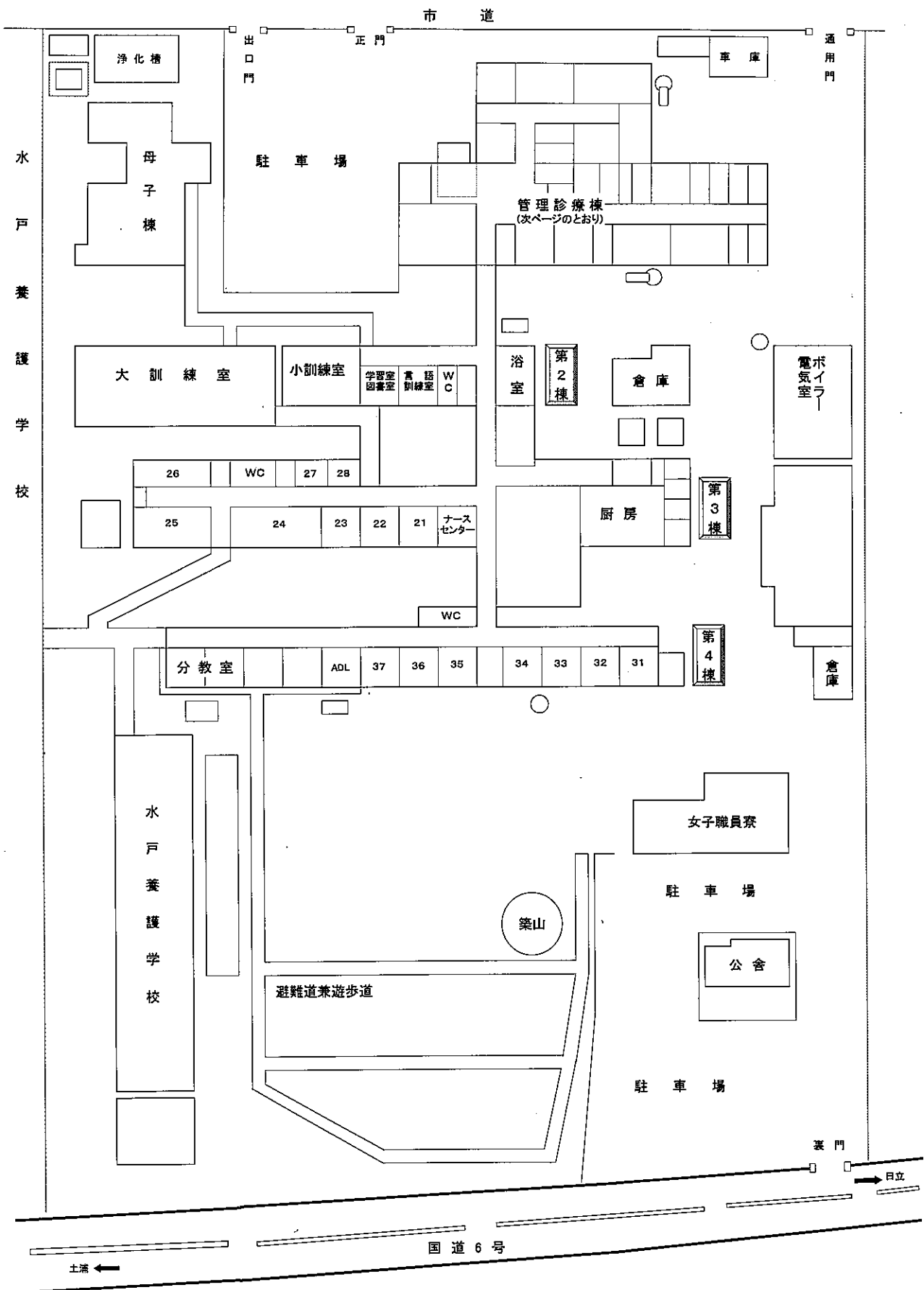
② 日中一時支援

日帰りの生活支援をご利用いただく場合は、市町村地域支援事業担当課又は当センター指導課にお問い合わせください。

③ 保険入院

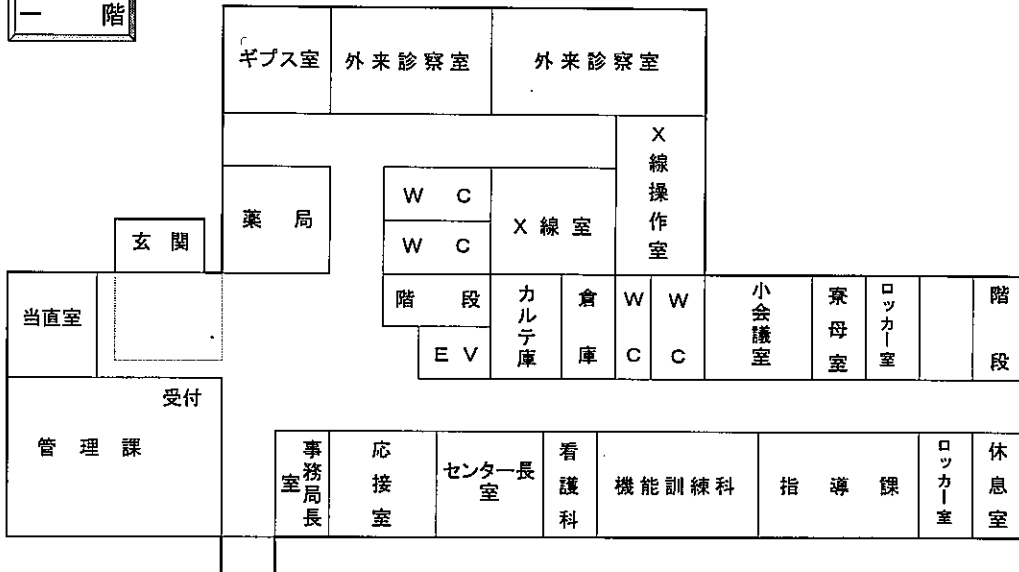
1ヶ月未満の医療目的の入所の場合は、健康保険を利用しての入所(保険入院)になります。

県立こども福祉医療センター配置図

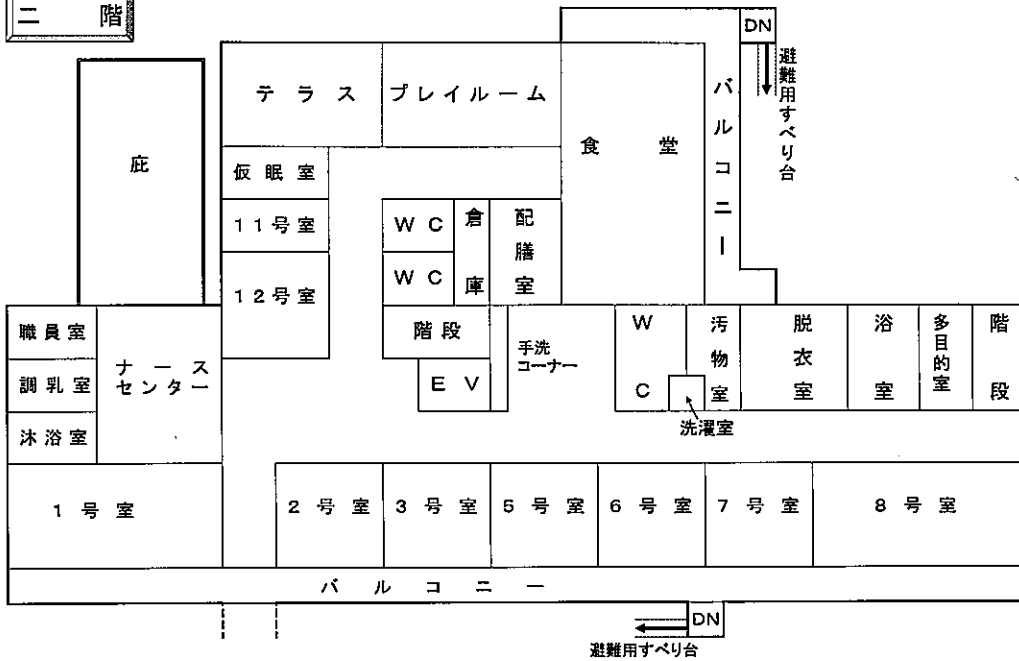


管理診療棟平面図

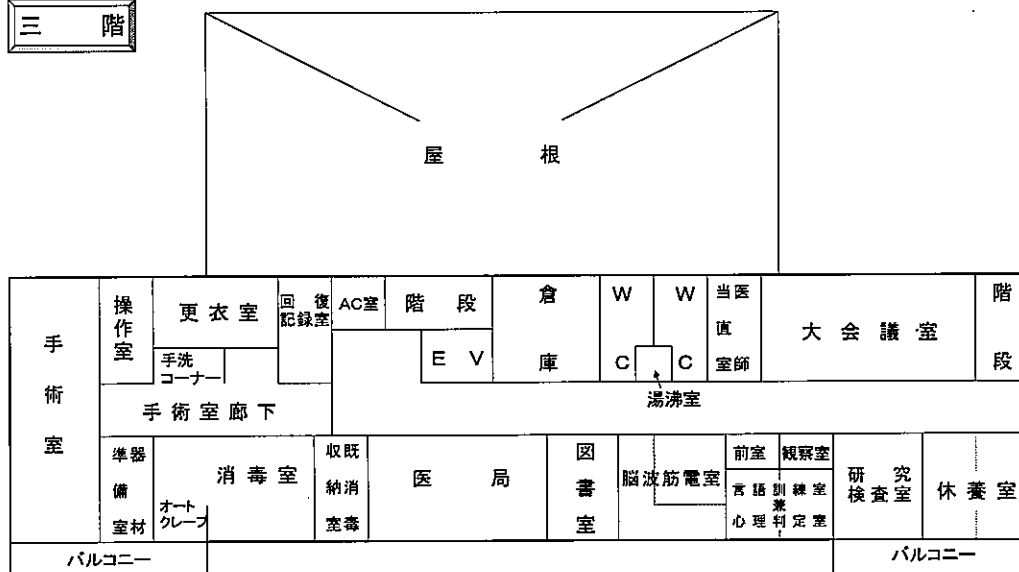
一階



二階



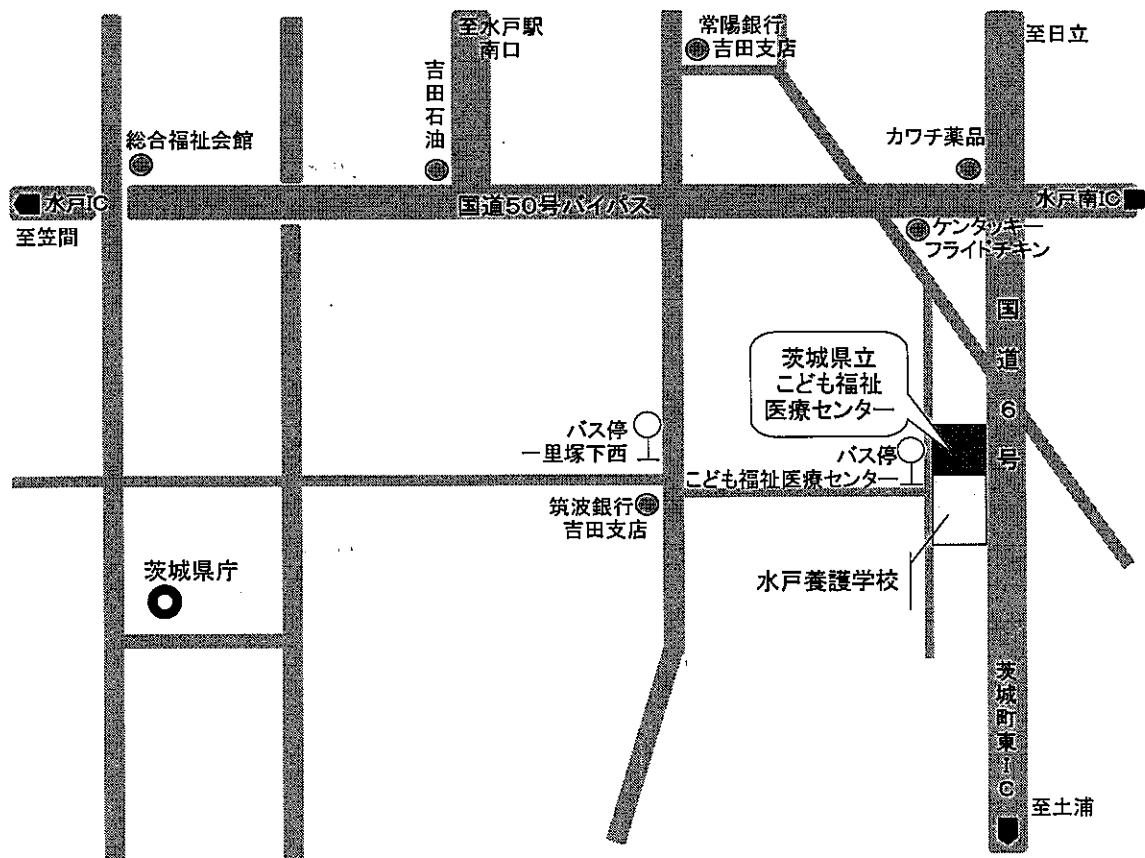
三階



交通案内

- 水戸駅からバスをご利用の場合
 - ◎ 北口3番バス乗り場
 - *三高下・台町・一里塚経由 吉沢車庫行き
 - *三高下・台町・一里塚経由 奥の谷坂上行き
 - *三高下・台町・一里塚経由 運転免許センター行き
 - *三高下・台町・一里塚経由 県自動車学校行き
 - 一里塚下西下車 徒歩7分
 - ◎ 南口2番バス乗り場
 - *台町・一里塚経由 吉沢車庫行き
 - *みなみ団地入口・一里塚経由 吉沢車庫行き
 - 一里塚下西下車 徒歩7分
 - *台町・四中経由 吉沢車庫行き
 - こども福祉医療センター前下車
- 高速道路ご利用の場合
 - 常磐自動車道 水戸ICから
国道50号バイパスを利用して 車で約20分
 - 北関東自動車道 茨城町東ICから 車で約10分
 - 北関東自動車道 水戸南ICから 車で約6分

案内図



所在地等

住所：〒310-0845
水戸市吉沢町3979-3
Tel：029-247-3311 Fax：029-248-5177
Eメールアドレス：kodomocronos.ocn.ne.jp
ホームページURL：http://www1.ocn.ne.jp/~kodomof

目 次

概 況

- 1 設置の根拠 ……………1
- 2 設置の目的及び業務内容 ……………1
- 3 沿革 ……………1
- 4 施設の概要 ……………4

平成21年度事業実績の概要

- 1 組織及び所管事務 ……………6
- 2 職員の状況 ……………7
- 3 主な備品購入等の状況 ……………12
- 4 入所児童の状況 ……………13
- 5 母子入園 ……………18
- 6 短期入所事業 ……………18
- 7 日中一時支援事業 ……………18
- 8 保険入院 ……………18
- 9 医療業務 ……………19
- 10 機能訓練業務 ……………23
- 11 生活指導業務 ……………26
- 12 看護業務 ……………27
- 13 地域療育等支援業務 ……………28
- 14 給食業務 ……………30
- 15 ボイラー業務等 ……………31
- 16 院内感染対策委員会 ……………32
- 17 医療安全管理委員会 ……………33
- 18 実習生等の受入 ……………34
- 19 平成21年度
歳入歳出予算(最終) ……36

平成22年度事業計画の概要

- 1 平成22年度
歳入歳出予算(当初) ……37
- 2 会議の開催等 ……………38
- 3 医療業務 ……………39
- 4 機能訓練業務 ……………39
- 5 生活指導業務 ……………42
- 6 看護業務 ……………47
- 7 地域療育等支援業務 ……………48

付 表

- 1 市町村別入所児童数 ……………49
- 2 病類別入所児童の推移 ……………50
- 3 年齢別入所児童数の推移 ……52
- 4 CP・非CP別
入所児童数の推移 ……52
- 5 入所診療の推移 ……………53
- 6 外来診療の推移 ……………54
- 7 外来訓練の推移 ……………56
- 8 短期入所・日中一時支援事業
の利用状況 ……………58

概 況

1 設置の根拠

- ・児童福祉法第43条の3（肢体不自由児施設）
- ・社会福祉施設等の設置及び管理に関する条例(昭和39年茨城県条例第10号)

2 設置の目的及び業務内容

（目的）

このセンターは、児童福祉法に基づく肢体不自由児施設であるとともに医療法上の病院として、上肢・下肢又は体幹の機能に障害のある児童に医療及び独立自活に必要な知識技能を与えることを目的としている。

（業務内容）

- (1) 単独入所児(定員:150名)、母子入園による入所児(定員:10名)及び外来児に対する整形外科的治療、小児科的治療並びに理学療法、作業療法及び言語聴覚療法による機能訓練
- (2) 入所児の生活及び育成指導(学齢児童のうち小学部5年生以上は隣接の水戸養護学校に通学し、4年生以下はセンター内分教室で学んでいる。)
- (3) 入所中の年少児(幼児)の保育
- (4) 障害福祉サービス短期入所事業及び日中一時支援事業
- (5) 保険入院
- (6) 療育相談
- (7) 地域支援(障害児地域療育等支援事業)

3 沿革

昭和33年当時、県内の肢体不自由児数は約1,500人と推定され、その福祉対策として昭和34年に施設設置を決定し、昭和36年1月に「茨城県立ひばり学園」として開所した県内で唯一の肢体不自由児施設(100床)で、全国で46番目に設置された。

敷地は旧陸軍飛行場跡(大蔵省より当初17,105㎡借用)を利用したため、広大でしかも閑静な地で、建設当時は施設周辺のあちこちより「ひばり」が舞いあがり、環境にも恵まれた施設であった。しかし、バイパスの開通、住宅圏の拡大等都市化の波は当施設周辺にまで押し寄せ、開設当時ののどかさは遠い過去のものとなった。

その後、入所児の低年齢化、障害の重度化が進むにつれ、設備及び療育の面でこれに対応した整備が必要となったことから、昭和42年に母子棟(10組)を設け、昭和54年に乳幼児病棟(50床)の新設と診療部門の充実強化を図るため管理診療棟の増改築を行った。これを機会に昭和54年4月1日をもって「ひばり学園」から「こども福祉医療センター」に名称を変更した。

昭和57年から昭和62年の間に障害の重度化した児童の処遇の向上を図るため、旧病棟の一部を整備してきた。

平成18年10月1日には障害者自立支援法の施行による同制度が障害児施設に適用となり、虐待等の問題のある児童を除き、措置入所から契約入所に変更となった。

入所児の減少に伴い、平成22年4月1日から103床を休床とし、1病棟体制とした。

年 月 日	内 容
S34 年度	ひばり学園設置決定
S35. 5. 1	民生部母子福祉課内にひばり学園要員発令
S36. 1. 20	ひばり学園開設(82,139千円) 初代園長 木城卓二氏就任 事務長・庶務課・指導課 医務局長・医科・看護科
S36. 3. 1	診療開始
S36. 3. 10	児童入所開始(定床100)
S36. 10. 16	身体障害者福祉法第19条の2第1項の規定による更生(育成)医療指定医療機関
S36. 11. 1	基準看護(一類)・基準給食・寝具設備を実施
S39. 3. 13	ライシャワー米駐日大使夫人来園
S40. 10. 1	第2代園長に医務局長 春日秀彦氏就任
S41. 4. 8	常陸宮ご夫妻来園
S42. 4. 1	母子入園開始(定床10)
S44. 10. 25	皇太子ご来園
S46. 6. 1	機構改革 事務長は事務局長 看護婦長は看護科長に改称 医務局内に機能訓練科設置
S47. 6. 1	民生部が生活福祉部となる 同部に障害福祉課設置
S48. 6. 1	看護科長は総婦長と改称 看護婦長を新設
S50. 4. 1	当学園内に県立水戸養護学校ひばり学級開設
S54. 3. 31	管理診療棟増改築完成(鉄筋コンクリート造一部3階建)(732,484千円)
S54. 4. 1	乳幼児棟(50床)開設 県立こども福祉医療センターに改称 当センター内に県立水戸養護学校ひばり分校開設
S54. 6. 1	小児科医就任
S55. 10. 2	増位山一行来所
S56. 12. 22	創立20周年記念永年勤続者表彰
S57. 1. 20	創立20周年記念誌発行
S62. 6. 1	小児科医2名となる
S63. 4. 1	言語聴覚士(非常勤嘱託)1名配置
H 3. 4. 1	第3代センター長に副センター長 難波健二氏就任 県立水戸養護学校ひばり分校が同吉沢分校に校名変更
H 5. 6. 1	基準看護特Ⅱ類承認
H 6. 4. 1	県の部の改編があり福祉部の所管となる
H 6. 5. 1	薬剤師(非常勤嘱託)1名配置
H 7. 10. 1	小児科医3名となる

年 月 日	内 容
H 8. 4. 1	新看護承認(看)第35号(3対1A/6対1看補), 一般2棟160床
H 8. 12. 24	センター院内感染対策委員会の設置
H 9. 3. 1	創立35周年記念誌発行
H 9. 8. 22	センター運営改善検討委員会の設置
H10. 10. 22 ~ 23	第43回全国肢体不自由児療育研究大会を当センター当番で開催
H10. 10. 24	第15回脳性麻痺の外科研究会開催
H11. 4. 1	県の部の改編があり保健福祉部の所管となる 機構改革 庶務課を管理課に改称
H12. 4. 1	第4代センター長に医務局長 桑島克子氏就任 洗濯業務の委託
H12. 4. 14	障害者施設等入院基本料(Ⅱ群)の届出(受理H12. 4. 25)
H13. 1. 5	センター医療事故防止対策委員会の設置
H14. 10. 16	褥瘡対策の基準に係る届出(算定開始H14. 10. 1) 医療安全管理体制の基準に係る届出(算定開始H14. 10. 1)
H15. 7. 31	病床の種別の変更等に係る届出
H16. 10. 1	医療事務業務委託
H16. 10. 23	高円宮妃殿下来所
H17. 4. 1	第5代センター長に 近藤郁子氏就任 心理判定員 1名配置
H18. 4. 1	障害者施設等入院基本料(10対1)の届出(算定開始H18. 4. 1)
H18. 9. 6 ~ 8	第21回関東甲信越静肢体不自由児施設看護管理者会・療育研究部会を当 センター当番で開催
H20. 4. 1	第6代センター長に 堀田秀樹氏就任
H21. 3. 31	県立水戸養護学校吉沢分校廃止
H21. 4. 1	当センター内に県立水戸養護学校の分教室設置
H22. 4. 1	入所児数の減に伴い, 103床を休床し, 1病棟体制に変更

4 施設の概要

- (1) 所在地 〒310-0845 水戸市吉沢町3979の3
 電話 029(247)3311, 3312, 3325, 3326
 FAX 029(248)5177
- (2) 設置及び経営主体 茨城県
- (3) 敷地面積 16,438.08㎡ (全て国有地)
 (14,524.99㎡(無償), 1,163.03㎡(有償), 750.06㎡(有償))
- (4) 建物面積 6,584.25㎡
- (5) 入所見定員 160(単独150・母子10), うち103(単独100・母子3)を休床
- (6) 建物

名称	構造	棟数	面積
本館	鉄筋コンクリート3階建(1棟)・平屋建(3棟)	4	4,899.10㎡
母子入園棟	鉄筋コンクリート平屋建	1	267.60㎡
大訓練室	鉄骨平屋建	1	324.00㎡
温水治療室	鉄筋コンクリート平屋建	1	208.30㎡
女子職員寮	鉄筋コンクリート2階建	1	363.07㎡
医師公舎	木造平屋建	1	81.98㎡
ボイラー室・電気室	鉄筋コンクリート一部2階建	1	178.35㎡
その他	旧ボイラー電気室・車庫・自転車置場・その他	13	261.85㎡
計		23	6,584.25㎡

(7) 年度別整備状況

(単位：千円)

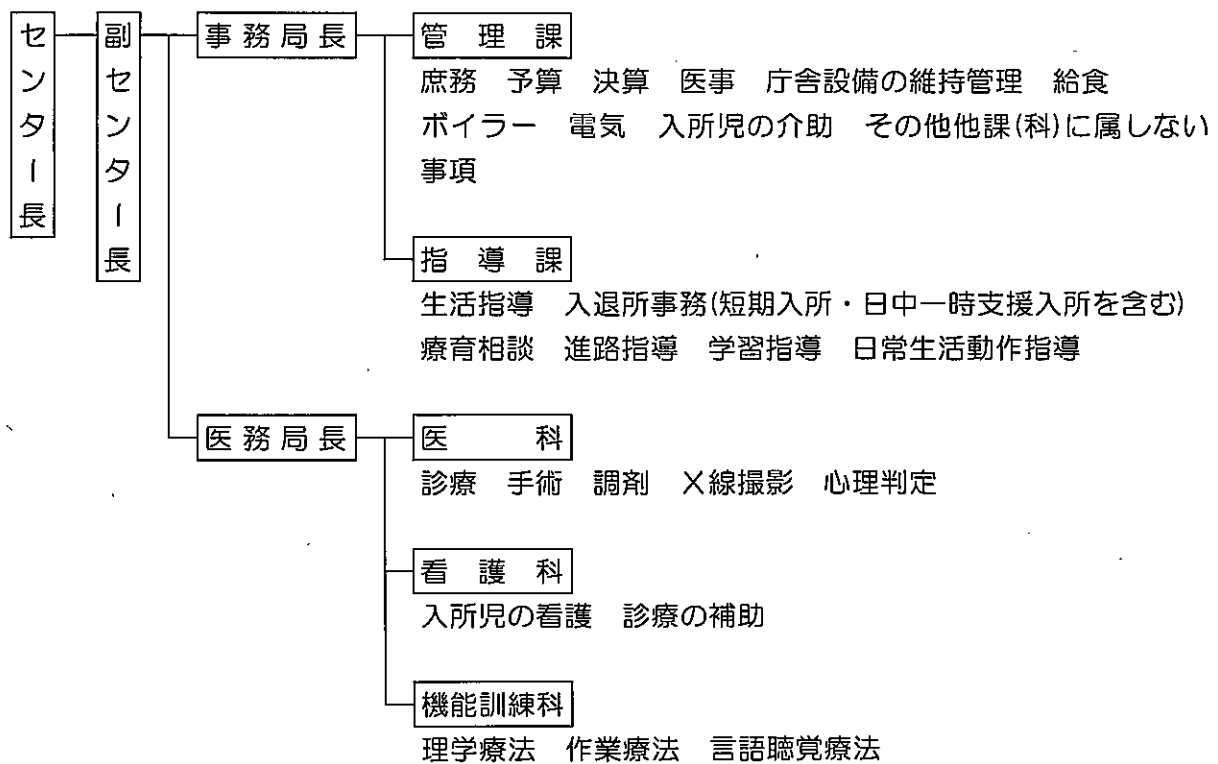
年度	整備内容	整備費	年度	整備内容	整備費
S35	本館	82,139	S60	旧棟改修(廊下天井張替塗装, 渡り廊下屋根設置, 調理室電気配線改修, 窓枠アルミサッシ取替)	10,615
S36	女子職員寮(3戸)	9,480	S61	旧棟改修(厨房屋根, 2棟屋根の防水及び庇, 3棟庇)寮舎改修	9,200
	医師住宅(3戸)	2,305			
S39	温水治療室	15,840		雑排水ポンプ交換	400
S41	母子入園棟	11,125	S62	ブロック塀改修及び大・小訓練室塗装他	12,050
S43	総合訓練室	11,465	S63	公舎解体撤去(2棟)及び外来駐車場整	1,880
S48	車椅子車庫	47			
S50	理容室	300		外来用駐車場造園	1,370
S51	ボイラー室・電気室	54,500		自動火災報知設備(副受信機)設置	900
S52	管理診療棟増改築	732,484		スプリンクラー設置	35,100
・53			H元	3棟食堂冷房設置 焼却炉改築	2,953 4,463
S54	食堂増築	16,050			
S57	旧棟改修(3棟病室, 浴室, 便所等)	50,768			
S58	旧棟改修(4棟居室, 自動ドア)	25,470			
S59	旧棟改修(4棟屋根, 窓枠アルミサッシ取替)	29,360			

年度	整備内容	整備費	年度	整備内容	整備費
H元	2~4棟便所改修	986	H17	3棟24号室床改修	827
	母子棟電源改修	600		4棟トイレ改修	7,402
H2	避難道兼遊歩道新設	4,120	H18	ボイラー煙突等改修	23,026
	電源配線他6件	7,290		4棟廊下壁等塗装改修	799
H3	ボイラー室配管, 煙突改修	5,459	H19	ターボ冷凍機整備(オーバ ーホール)	4,830
	ターボ冷凍機整備	4,841		大訓練室カーペット張替	729
	給食事務室フロア張替	1,846		X線室ドア改修	913
H4	医師公舎改築(1棟)	14,985		1棟屋根側溝ウレタン等防 水改修	3,465
	避難橋改築	4,329	H20	電話交換設備及びナース コール設備更新	11,550
	給湯配管改修	5,150		自動火災報知設備改修	1,690
H5	母子棟診察室改修	750		1棟自動ドア改修	893
	ジュウタン敷設替	2,472		手術準備室蒸気還管漏水 修理	641
	灯油庫設置他2件	2,563		手術室余剰ガス排除装置 取付	658
H6	小訓練室冷房	1,700	H21	耐震対策関連	
	ファンコイル改修	2,323		・新食堂内部修繕	756
H7	大訓練室・4棟屋根改修	7,952		・調理室フード補強	328
H8	3棟屋根改修	9,500		・新食堂エアコン改修外	444
H9	2棟・母子棟屋根改修	11,130		酸素ガスアウトレット改 修	546
H10	駐車場拡張	2,782		病棟再編関連	
	プレイルーム床改修	926		・ナースコール増設	588
	ターボ冷凍機設置	46,725		・1棟トイレ改修工事外	2,586
	旧棟外壁及び配管塗装	17,115		・エアコン移設等外	1,178
	女子寮屋根防水	2,887			
	管理診療棟床張替	1,933			
	厨房室改修	1,248			
H11	エレベーター改修	3,255			
	母子棟改修	3,045			
H12	玄関・手術室自動ドア改修	1,323			
	3棟居室及びナース室改修	6,530			
	ターボ冷凍機防音	808			
H13	大訓練室天井改修	2,079			
H14	浴槽改修(リフトバス)	1,467			
H15	母子棟浴室改修	978			
	3棟居室改修	986			
H16	1棟居室改修	1,470			
	2棟トイレ改修	977			
H17	3・4棟廊下床シート張替	3,675			
	3棟廊下手摺改修	945			

平成21年度事業実績の概要

上肢・下肢及び体幹の機能に障害のある児童に対して医療及び生活指導を実施し、独立自活に必要な機能の改善及び知識技能の習得に努めた。

1 組織及び所管事務（H22.4.1現在）



2 職員の状況

(1) 定数及び現員

H22.4.1現在(単位：人)

職 種	職 員 数		非常勤嘱託	臨時職員等	備 考
	配置定数	現 員			
事 務	5	5			
医 師	6	4	2		整形外科2 小児科2
心 理 判 定 員	1	1			
薬 剤 師	1	1	1		
診療放射線技師	1	1			
看 護 師	28	35			准看護師1, 育休任期付1
児 童 指 導 員	2	2			
保 育 士	7	7			
理 学 療 法 士	6	6			
作 業 療 法 士	3	4			
言 語 聴 覚 士	1	1	1		
栄 養 士	1	1			
調 理 師	4	7			
ボイラー技師	1	1	1	1	
寮母・寮父	—	5		2	
計	67	81	5	3	

(2) 職員の研修会等への参加状況

(管理課)

期 間	研 修 会 等 の 名 称	場 所	主 催	参 加 人 員
H21.4.11	茨城県福祉栄養士協議会総会・研修会	水戸市	茨城県福祉栄養士協議会	1
H21.5.21~22	全国肢体不自由児施設施設長・事務長会議	富山県	全国肢体不自由児施設運営協議会	2
H21.7.16・17	甲種防火管理新規講習会	水戸市	水戸市消防本部	1
H21.8.19	特定給食施設等従事者研修会・子育て支援講座	水戸市	茨城県(水戸保健所)	3
H21.8.23	栄養学術講習会	水戸市	社団法人茨城県病院協会 社団法人茨城県栄養士会	1
H21.10.22	関東甲信越静肢体不自由児施設施設長・事務長会議	群馬県	関東甲信越静肢体不自由児施設連合会	2
H21.11.16・30, 12.14	健康運動研修会	水戸市	茨城県立健康プラザ	1
H21.2.20	茨城県福祉栄養士協議会研修会	水戸市	茨城県福祉栄養士協議会	1

(指導課)

期 間	研 修 会 等 の 名 称	場 所	主 催	参加人員
H21.5.28	情報セキュリティ管理者研修	水戸市	茨城県	1
H21.6.27	福祉関係者のための成年後見制度活用講座	水戸市	茨城県社会福祉士会	1
H21.9.10~11	第24回関東甲信越肢体不自由児施設療育研究部会	新潟県	関東甲信越肢体不自由児施設連合会	1
H21.10.29~30	第54回全国肢体不自由児療育研究部会	山梨県	全国肢体不自由児施設運営協議会	1
H21.12.6	身近に実践ムーブメント講座第1回	水戸市	社会福祉法人茨城県社会福祉事業団	2
H22.1.31	身近に実践ムーブメント講座第2回	水戸市	社会福祉法人茨城県社会福祉事業団	2
H22.3.7	身近に実践ムーブメント講座第3回	水戸市	社会福祉法人茨城県社会福祉事業団	2

(医科)

期 間	研 修 会 等 の 名 称	場 所	主 催	参加人員
H21.5.27~30	第51回日本小児神経学会総会	鳥取県	日本小児神経学会	1
H21.5.30	第107回茨城整形外科集談会	阿見町	茨城整形外科医会	1
H21.6.6	第566回日本小児科学会東京都地方会	東京都	日本小児科学会東京都地方会	1
H21.6.19~20	第48回日本小児股関節研究会	岡山県	日本小児股関節研究会	1
H21.6.20	第3回日本てんかん学会関東甲信越地方会	東京都	日本てんかん学会関東甲信越地方会	1
H21.8.1	第4回JEPICCシンポジウム	東京都	JEPICC	1
H21.8.22	第26回小児神経筋疾患懇話会	東京都	小児神経筋疾患懇話会	1
H21.8.23~24	第16回日本小児整形外科学会研修会	東京都	日本小児整形外科学会	1
H21.9.12	第568回日本小児科学会東京都地方会	東京都	日本小児科学会東京都地方会	1
H21.9.19	第51回日本小児神経学会関東地方会	神奈川県	日本小児神経学会関東地方会	1
H21.9.25	第1回児童施設心理療法担当職員研修会	水戸市	茨城県(福祉相談センター)	1
H21.10.10	第569回日本小児科学会東京都地方会	東京都	日本小児科学会東京都地方会	1
H21.10.24~25	第34回日本睡眠学会	大阪府	日本睡眠学会	1
H21.10.29~30	第54回全国肢体不自由児療育研究大会	山梨県	全国肢体不自由児施設運営協議会	1
H21.10.31	第26回日本脳性麻痺の外科研究会	山梨県	日本脳性麻痺の外科研究会	1
H21.12.4~5	第20回日本小児整形外科学会	愛媛県	日本小児整形外科学会	1

期 間	研 修 会 等 の 名 称	場 所	主 催	参 加 人 員
H21.12.12	第570回日本小児科学会東京都地方会	東 京 都	日本小児科学会東京都地方会	1
H22.1.9	第571回日本小児科学会東京都地方会	東 京 都	日本小児科学会東京都地方会	1
H22.2.6	第20回関東小児整形外科研究会	東 京 都	関東小児整形外科研究会	2
H22.3.20	第52回日本小児神経学会関東地方会	東 京 都	日本小児神経学会関東地方会	1

(看護科)

期 間	研 究 会 等 の 名 称	場 所	主 催	参 加 人 員
H21.5.17	茨城県看護の祭典	水 戸 市	茨城県看護協会	4
H21.6.5	高次脳機能障害研修	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H21.6.27・28, 8.20・25	接触・嚥下障害看護研修	水 戸 市	茨城県看護協会	3
H21.6.10・26, 7.7・23, 8.3	皮膚・排泄ケア研修	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H21.7.16~8.4 10.19~11.16	実習指導者講習会	水 戸 市	茨城県看護協会	1
H21.8.20・9.5	呼吸療法研修	水 戸 市	茨城県看護協会	4
H21.8.27, 9.3・10	感染看護研修（初級）	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H21.8.29, 10.9	看護研究研修	水 戸 市	茨城県看護協会	3
H21.8.30	フォーカスチャータング研修	東 京 都	JCF	8
H21.9.1・4	実習施設教育担当者等研修会	水 戸 市	茨城県	1
H21.9.7・14	目標管理・コーチング研修	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H21.9.9~10	第24回関東甲信越静肢体不自由児施設看護管理者会	新 潟 県	関東甲信越静肢体不自由児施設連合会	1
H21.9.10~11	第24回関東甲信越静肢体不自由児施設療育研究部会	新 潟 県	関東甲信越静肢体不自由児施設連合会	3
H21.10.1・29, 11.12・26, 12.10	感染看護研修（中級）	水 戸 市	茨城県看護協会	1
H21.10.16・17	医療看護安全対策研修	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H21.10.26	NST	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H21.10.29~30	第54回全国肢体不自由児療育研究大会	山 梨 県	全国肢体不自由児施設運営協議会	3
H21.10.30	小児精神看護研修	水 戸 市	茨城県看護協会	1
H22.1.7・21	感染看護研修（上級）	水 戸 市	茨城県看護協会	2
H22.2.20	茨城県看護研究学会	水 戸 市	茨城県看護協会	8

(機能訓練科)

期 間	研 修 会 等 の 名 称	場 所	主 催	参 加 人 員
H21.6.19~21	第43回日本作業療法学会	福 島 県	日本作業療法学会	1
H21.9.10~11	第24回関東甲信越静肢体不自由児施設療育研究部会	新 潟 県	関東甲信越静肢体不自由児施設連合会	1
H21.9.30	国際福祉機器展	東 京 都	保健福祉広報協会	1
H21.10.29~30	第54回全国肢体不自由児療育研究大会	山 梨 県	全国肢体不自由児施設運営協議会	1
H21.11.21~23	脳性麻痺を伴った子どもへのボバースアプローチ	大 阪 府	日本ボバース研究会	1

(3) 研究業績等

□ 演 発 表

学 会 名	研 究 題 目	研 究 者	期 間	摘 要
第24回関東甲信越静肢体不自由児施設療育研究部会	他職種との連携による長期入所児への自立支援	平林 教子	H21.9.10~11	看護科
第54回全国肢体不自由児療育研究大会	長期母子分離を強いられた母親に対する愛情形成確立へのアプローチ	大和田七帆 丸茂 君枝	H21.10.29~30	看護科
	外来看護師の取り組み—家族指導用のパンフレットを作成して	河井すみ子 石崎 昭子 加藤 利枝		看護科
第20回関東小児整形外科学会	〇脚を主訴に当科を受診したくる病の3例	森岡 健 伊部 茂晴	H22.2.6	医 科
第52回日本小児神経学会	発達障害支援のためのアンケートについて	家島 厚 堀田 秀樹	H22.3.20	医 科

論文・著書

題 名	書籍雑誌名	発行社名	発行年月	著者, 共著者
Aicardi症候群	小児科診療vol72Suppl	診断と治療社	H21.4	堀田 秀樹
Rett症候群	小児科診療vol72Suppl	診断と治療社	H21.4	堀田 秀樹
茨城県からの発信—障害のある小児を支える地域リハビリテーション—地域リハビリテーションにおける小児施設の役割は?	地域リハビリテーション	三輪書店	H21.5	伊部 茂晴
新任医紹介「茨城県立こども福祉医療センター」	茨城県小児科医学会報	茨城県小児科医会	H21.10	堀田 秀樹
覚醒障害	小児科臨床ピクシス14睡眠関連病態	中山書店	H22.2	堀田 秀樹
発達の遅れと筋緊張低下があるときは、どう考えどう扱うか。	小児内科	東京医学社	H22.2	家島 厚
外来小児科で役立つ整形外科の知識—股関節脱臼を中心に—	茨城県医師会報	茨城県医師会	H22.3	伊部 茂晴

(4) 研修会等の開催

ア 地域療育セミナー

地域での療育の推進や地域の諸機関との連携をより密にするため、県内医療機関や福祉施設の障害児に関わる職員や特別支援学校の教職員、障害児の保護者などを対象に前年度に引き続き開催した。

開催期日	題 目	講 師	出席者数	場 所
H21.10.9	発達障害児への感覚統合療法	茨城県立医療大学付属病院 作業療法士 田辺博之氏	99	県立健康プラザ
H22.1.23	脳性麻痺の痙縮に対する整形外科的治療	県立こども福祉医療センター - 医務局長・伊部茂晴	46	県立健康プラザ
H22.3.13	重症心身障害児の呼吸障害と栄養障害-呼吸器疾患と消化器疾患の理解と管理-	東京都立北療育医療センター - 院長 落合幸勝氏	71	県立健康プラザ

イ 第5回こども福祉医療センター療育研究会

開催期日 平成22年3月3日(水)

場 所 県立こども福祉医療センター 大会議室

参加者数 39名

演 題	演 者	所 属
① 当科で経験したくる病4例	森岡 健	整形外科
② 発達障害児の支援のためのアンケートについて	家島 厚	小児科
③ いちご教室参加児の運動年齢調査	宮本 祐子	機能訓練科
④ 経鼻栄養チューブ抜去防止の用具の工夫の取り組み	白岩 央子	1棟看護師
⑤ 単独入所により環境の変化に戸惑いがある患児の看護	浅野 敦子	3棟看護師
⑥ 情緒不安定な母親との関わり	富樫 晴奈	1棟看護師
⑦ 脳性麻痺児への自力摂取を引き出すための援助	秋田絵里子	3棟看護師
⑧ プレパレーションの導入を試みて	神 泰子	3棟看護師

(5) 講演

期 日	演 題 目	講 師	講演場所等
H21.4.30	県立こども福祉医療センターの役割と整形外科的医療-その歴史と課題-	伊部 茂晴	県立こども病院集談会 県立こども病院
H21.7.4	個性的な子どもたちとのつきあい方について	家島 厚	ひまわりのお家 子育て講演会 茨城県総合福祉会館
H21.9.10	外来小児科で役立つ整形外科の知識-股関節脱臼を中心に-	伊部 茂晴	茨城県医師会保育所囑託医幼稚園 園医研修会 茨城県医師会館
H21.11.8	気になる子どもたち~テレビをやめてみたら~	家島 厚	日本小児科医会第7回市民公開フォーラム 三鷹産業プラザ
H21.11.10	「発達障がい」ってなんだろう	家島 厚	心の健康づくり地域啓発推進事業 鹿嶋市まちづくり市民センター
H21.11.6	上田法について	井坂 三男	水戸養護学校自立活動研修会 水戸養護学校

期 日	演 題 目	講 師	講 演 場 所 等
H21.11.14	子の育ち・親の育ち	家島 厚	三の丸アカデミー N図書館 県立図書館視聴覚ホール
H21.11.20	医療的ケア実施における学校との連携について	坪井さち子	特別支援学校非常勤嘱託看護職員 研修会 県立こども福祉医療センター
H22.1.7	障害児について	家島 厚	ひたちなか市立幼稚園教育研究会 研修 高野幼稚園
H22.1.30	発達障害「グレーゾーンをどうみるか」	家島 厚	県立こども病院公開シンポジウム 県立こども病院
H22.2.25	先天性股関節脱臼ー診断とR B治療ー	伊部 茂晴	茨城県臨床整形外科医会 水戸プラザホテル
H22.3.6	子の育ちと親の育ち～親子で 健やかに成長するために準備 しておきたいこと～	家島 厚	妊娠中からの子育て講座 鹿嶋市鹿島保健センター

3 主な備品購入等の状況

備 品 名	金 額 (円)	配 置 箇 所
気動式骨手術器械一式	2,037,000	手術室
配膳車	194,250	調理室
オートクレーブ	308,700	ナースセンター
冷蔵庫	79,590	調乳室
輸液ポンプ (3台)	827,400	ナースセンター
ボールプール用枠	135,000	小訓練室
SRCウォーカー	101,700	大訓練室
昇降フレーム机コパン	157,600	学習室
PCW姿勢制御歩行器	94,200	大訓練室
田中ビネーV検査用具	107,000	心理判定室
超音波ネブライザー	142,275	ナースセンター
パソコン (4台)	777,000	機能訓練科, 医局, 指導課

4 入所児童の状況

平成21年度中の新規単独入所は13名(措置3名, 契約10名)であり, 退所は19名(措置2名, 契約17名)である。母子入園はいずれも契約であり, 平成21年度中の入所は22名, 退所は21名である。

なお, 開設(昭和36年1月20日)から平成21年度末までで, 単独入所は2,576名, 退所は2,553名となっており, 母子入園は, 第1回の入所(昭和42年7月1日)から平成20年度末までで, 404回, 1,438名となっている。

(1) 措置等の状況

		21年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	計
単 独 入 所	前月末在籍	措置	9	9	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	10	**
		契約	20	21	21	19	18	19	20	20	19	18	19	19	18	**
	本月入所	措置		1		1		1								3
		契約	2			1	1	1	1	1	2	1				10
	本月退所	措置				1								1		2
		契約	1		2	2			1	2	3			1	5	17
	本月末在籍	措置	9	10	10	10	10	11	11	11	11	11	11	10	10	**
		契約	21	21	19	18	19	20	20	19	18	19	18	18	13	**
	本 月 利 用 者 数	措置	9	10	10	11	10	11	11	11	11	11	11	11	10	126
		契約	22	21	21	20	19	20	21	21	21	21	19	19	18	242
計		31	31	31	31	29	31	32	32	32	32	30	30	28	368	
母 子 入 園	前月末在籍	1	1	2	1	1		2	1	3			3		**	
	本月入所	1	2	1	2	2	3	1	3	1	3			3	22	
	本月退所	1	1	2	2	3	1	2	1	4			3		20	
	本月末在籍	1	2	1	1		2	1	3		3			3	**	
	本月利用者数	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	37	
利 用 者 計	措置	9	10	10	11	10	11	11	11	11	11	11	11	10	126	
	契約	24	24	24	23	22	23	24	25	25	25	22	22	21	279	
	計	33	34	34	34	32	34	35	36	36	36	33	33	31	405	

入所病棟別初日在籍数

	21年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	計
1 棟	10	11	12	13	11	11	13	13	11	11	11	11	10	137	
3・4 棟	19	19	19	17	17	18	18	19	19	19	18	19	18	220	
計	29	30	31	30	28	29	31	32	30	29	30	30	28	357	

(2) 単独入所児童の病類別年齢、性別の状況

H22.3.1現在(単位：人)

病名	6歳未満	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳以上	計	性別内訳		比率(%)	
														男	女		
脳原性疾患	脳性麻痺			2			2	2	1	1	2	3	13	7	6	46.4	
	その他	6			1	1			1				4	13	6	7	46.4
ペルテス病																	
二分脊椎																	
先天性股関節脱臼																	
先天性内反足																	
アルトログリポージス																	
骨系統疾患																	
脊椎側彎																	
外傷後遺症																	
進行性筋・神経疾患	1												1	1			3.6
ディスメリー																	
骨関節炎																	
その他整形外科的疾患							1						1	1			3.6
くる病																	
ポリオ																	
その他																	
計	7			3	1		3	2	2	1	2	7	28	15	13		**
比率(%)	25.0			10.7	3.6		10.7	7.1	7.1	3.6	7.1	25.0	**	53.6	46.4		**

(3) 単独入所児童の病類別在籍期間の状況

H22.3.1現在(単位：人)

病名	3月未満	6月未満	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年未満	9年未満	10年未満	10年以上	計	比率(%)		
																脳原性疾患	脳性麻痺
脳原性疾患	その他	1		2	3	4	1	1		1					13	46.4	
ペルテス病																	
二分脊椎																	
先天性股関節脱臼																	
先天性内反足																	
アルトログリポージス																	
骨系統疾患																	
脊椎側彎																	
外傷後遺症																	
進行性筋・神経疾患				1										1		3.6	
ディスメリー																	
骨関節炎																	
その他整形外科的疾患		1												1		3.6	
くる病																	
ポリオ																	
その他																	
計	1	3	2	5	4	3	1	2	1	1	1	1	3	28		**	
性別内訳	男		1	1	3	2	3	1			1		1	2	15		
	女	1	2	1	2	2			2	1		1		1	13		
比率(%)	3.6	10.7	7.1	17.9	14.3	10.7	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	3.6	10.7	**		**	

(4) 単独入所児童の学年の状況

H22.3.1現在(単位：人)

区分	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学計	中1	中2	中3	中学計	中卒以上	計
男	4		1	1		2	2	6	1	1		2	3	15
女	3		2			2		4		1	1	2	4	13
計	7		3	1		4	2	10	1	2	1	4	7	28
比率(%)	25.0							35.7				14.3	25.0	**

(5) 単独入所児童の知能指数の状況

H22.3.1現在(単位：人)

区分	未検査	測定不能	29以下	30～49	50～74	75～99	100以上	計
男	8	1		2	2	2		15
女	7	1		3	2			13
計	15	2		5	4	2		28
比率(%)	53.6	7.1		17.9	14.3	7.1		**

(6) 単独入所児童の身体障害者手帳の所持状況

H22.3.1現在(単位：人)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	未所持	計
男	9	1		1			4	15
女	10	2					1	13
計	19	3		1			5	28
比率(%)	67.9	10.7		3.6			17.9	**

(7) 新規単独入所児童の学年の状況

H21年度(単位：人)

区分	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学計	中1	中2	中3	中学計	中卒以上	計
男	3					2		2	1		1	2		7
女	2	1				1		2		1		1	1	6
計	5	1				3		4	1	1	1	3	1	13
比率(%)	38.5							30.8				23.1	7.7	**

(10) 単独入所児童の日常生活動作の状況

1棟

H22.3.1現在(単位：人)

区分	脳原性疾患		バルテス病	二分背椎	股関節脱臼性	先天性肉反足	グリホロシス	骨系統疾患	脊椎側彎	外傷後遺症	神経性疾患	テイスメリ	骨関節炎	その他の疾患	くる病	ポリオ	その他	計	
	脳性麻痺	その他																	
食事	独力可能																		
	時々介助																		
	全介助	2	7								1							10	
洗面・着脱	独力可能																		
	時々介助																		
	全介助	2	7								1							10	
大小便	独力可能	おむつ																	
		下着																	
	時々介助	おむつ																	
		下着																	
全介助	2	7								1							10		
入浴	独力可能																		
	時々介助																		
全介助		2	7								1							10	
歩行	独力可能	車椅子																	
		杖																	
		自立	1															1	
	時々介助	車椅子																	
		杖																	
		自立																	
全介助	車椅子	2	6								1							9	
	杖																		
	自立																	9	
言語	普通会話可能																		
	言語障害がある	軽度 軽度の 構音障害																	
		中度 不自由だが実用 的な文レベルの 発話がある																	
		重度 単語のみ 発話不能	2	7								1						10	
病棟病類別人数		2	7								1							10	

3・4棟

H22.3.1現在(単位：人)

区分	脳原性疾患		性 他	パ ル テ ス 病	二 分 背 椎	設 先 天 節 節 説 日 性	先 天 性 肉 反 足	グ リ ホ ー シ ス ロ	骨 系 統 疾 患	骨 椎 側 彎	外 傷 後 遺 症	神 進 行 性 筋 患	テ ィ ス メ リ ー	骨 関 節 炎	外 科 的 疾 患	そ の 他 の 整 形	く る 病	ボ リ オ	そ の 他	計	
	脳 性 麻 痺	そ の 他																			
食 事	独 力 可 能	4	4													1				9	
	時 々 介 助	5																		5	
	全 介 助	2	2																	4	
衣 服 着 脱	独 力 可 能	1	3													1				5	
	時 々 介 助	5	1																	6	
	全 介 助	5	2																	7	
洗 面 着 脱	独 力 可 能	2	3													1				6	
	時 々 介 助	3	1																	4	
	全 介 助	6	2																	8	
大 小 便	独 力 可 能	おむつ 下着	2	3												1				6	
	時 々 介 助	おむつ 下着	3	1																4	
	全 介 助	おむつ 下着	1																	1	
			5	2																7	
入 浴	独 力 可 能		2													1				3	
	時 々 介 助		3	2																5	
	全 介 助		8	2																10	
歩 行	独 力 可 能	車椅子	4	1												1				6	
		杖		1																1	
		自 立	2	1																3	
	時 々 介 助	車椅子	2	1																	3
		杖																			
		自 立																			
全 介 助	車椅子	3	2																	5	
	杖																				
	自 立																				
言 語	普 通 会 話 可 能	4	4													1				9	
	軽 度 の 構 音 障 害	4																		4	
	中 度 不 自 由 だ が 実 用 的 な 文 レ ベ ル の 発 語 が あ る																				
重 度 単 語 の み 発 語 不 能	3	2																		5	
病 棟 病 類 別 人 数		11	6													1				18	

5 母子入園

集中的に機能訓練を行うことで運動発達が期待できる乳幼児(概ね0~6歳)を対象に母親とともに入所(2ヶ月間)し、退所後も適切な療育を家庭で行えるよう講義や訓練、生活の指導を行った。

区分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
入所児数	2	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	37

6 短期入所事業

平成21年度に短期入所の登録をしていた児童は102名であり、短期入所を利用した実人員は24名、延べ入所日数は224日(62件)であった。

区 分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
件 数	6	3	7	6	5	5	2	4	7	5	4	8	62
利 用 者 数	5	3	5	4	5	5	2	4	7	5	3	7	55
利用延べ日数	28	8	19	16	17	30	5	11	27	20	6	37	224

7 日中一時支援事業

平成21年度は17市町村から日中一時支援事業業務委託を受け、その利用実人員は47名、利用延べ日数は810日(205件)であった。

区 分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
利 用 者 数	19	18	19	17	11	18	16	14	20	14	22	17	205
利用延べ日数	56	45	50	77	86	65	67	51	69	68	87	89	810

8 保険入院

区 分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
件 数	3	9	5	6	7	3	2	8	4	6	7	6	66
延 べ 日 数	67	110	99	77	68	32	57	80	49	75	105	33	883

(原因別)

区 分		件数	備 考
整 形 外 科	先天性股関節脱臼	11	牽引療法、関節造影及び手術
	内 反 足	3	手術
	外 傷	1	大腿骨骨折
	その他の手術目的	10	筋性斜頸、麻痺性尖足、抜釘
	そ の 他	2	ペルテス病
小 計		27	
小 児 科	気道感染症、肺炎等	7	
	脱 水 , 胃 腸 炎	4	
	け い れ ん	0	
	そ の 他	4	
	小 計	15	
合 計		42	

9 医療業務

整形外科及び小児科の医療並びにそれぞれの疾病障害に応じた機能訓練や心理判定を行い、障害の回復を図った。外来診療においては、障害児の治療を行うほか家庭での機能訓練の方法を習得させるとともに、療育についての相談に応じた。

- ① 整形外科的治療及び手術
- ② 小児科的治療及び相談
- ③ 機能訓練
- ④ 各種検査の実施
- ⑤ 各種診断書及び意見書の作成
- ⑥ 院内カンファレンス(療育、外来及びMRI)の開催
- ⑦ 保健所、市町村等の障害児療育事業の支援
- ⑧ 外来及び入所児の調剤業務並びに薬剤保管
- ⑨ レントゲン・CT撮影及びフィルム管理
- ⑩ 知能検査、性格検査及びカウンセリングの実施

【1週間の業務】

月	外来診療、脳波検査、心電図検査、装具診
火	外来診療、脳波検査、心電図検査、シーティング外来(月3回)、MRIカンファレンス(月1回)
水	外来診療、ギプス・装具診、療育カンファレンス(月1回)、外来カンファレンス(月1回)、いちご教室(月2回)
木	外来診療、手術、発達障害外来、脳波検査、心電図検査、上田法教室(月1回)
金	外来診療、脳波検査、心電図検査

(1) 入所(入院)診療, 外来診療・訓練月別人員

(単位:人)

区分		21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計	1日平均 入所者等数	
入所・入院	第1病棟	362	459	457	384	363	361	465	418	387	413	375	336	4,780	13.1	
	第3・4病棟	559	556	540	536	548	542	581	564	607	568	530	512	6,643	18.2	
	母子棟	59	80	88	91	90	89	91	119	107	84	81	92	1,071	2.9	
	入所・入院計	980	1,095	1,085	1,011	1,001	992	1,137	1,101	1,101	1,065	986	940	12,494	34.2	
外 診	整形外科	初診	20	9	13	17	18	14	10	12	14	11	14	18	170	0.7
		再診	245	213	239	252	269	195	182	187	177	177	168	266	2,570	10.6
		計	265	222	252	269	287	209	192	199	191	188	182	284	2,740	11.3
	小児科	初診	30	17	44	37	27	32	42	32	43	33	35	31	403	1.7
		再診	636	528	646	654	576	630	704	839	955	650	634	763	8,215	33.9
		計	666	545	690	691	603	662	746	871	998	683	669	794	8,618	35.6
	その他	初診													0	0.0
		再診	13	8	14	11	7	6	29	121	73	58	10	14	364	1.5
		計	13	8	14	11	7	6	29	121	73	58	10	14	364	1.5
	小計	初診	50	26	57	54	45	46	52	44	57	44	49	49	573	2.4
		再診	894	749	899	917	852	831	915	1,147	1,205	885	812	1,043	11,149	46.1
		計	944	775	956	971	897	877	967	1,191	1,262	929	861	1,092	11,722	48.4
来 訓 練	理学療法	364	352	374	387	292	300	314	299	249	324	285	373	3,913	16.2	
	作業療法	218	155	225	220	203	224	194	211	157	236	214	236	2,493	10.3	
	言語聴覚療法	78	73	75	94	79	65	91	77	63	98	77	100	970	4.0	
	小計	660	580	674	701	574	589	599	587	469	658	576	709	7,376	30.5	
	外来計	1,604	1,355	1,630	1,672	1,471	1,466	1,566	1,778	1,731	1,587	1,437	1,801	19,098	78.9	
合 計	2,584	2,450	2,715	2,683	2,472	2,458	2,703	2,879	2,832	2,652	2,423	2,741	31,592	***		

(2) 外来診療新規患者(一般疾患は除く。)

ア 新患受診経路(単位:人)

区 分	整形外科	小児科	合 計
病 院	60	74	134
診 療 所	53	31	84
保健所, 保健センター	16	26	42
療 育 施 設		48	48
児 童 相 談 所		1	1
学 校	1	138	139
保 育 所・幼 稚 園		23	23
知 人	11	8	19
インターネット	5	3	8
直 接・不 明	24	51	75
合 計	170	403	573

イ 小児科新患病名別一覧(単位:人)

脳性麻痺	11
後天性脳障害	6
運動発達遅滞	25
染色体異常	15
脊髄障害	1
筋障害	2
言語発達遅滞	14
精神遅滞	21
広汎性発達障害	189
ADHD・LD	83
てんかん	14
不登校・心身症	17
難聴	4
その他	1
合 計	403

ウ 整形外科新患病名別一覧(単位:人)

一 般 整 形 外 科 疾 患	先天性股関節脱臼	11	
	股関節開排制限	58	
	ペルテス病	2	
	先天性内反足	8	
	O・X脚	9	
	側彎症	9	
	斜頸	9	
	先天奇形	4	
	骨軟部腫瘍	2	
	外傷	5	
	骨系統疾患	3	
	その他整形疾患	31	
	脳神経筋疾患	脳性麻痺	4
		筋ジス	
		その他神経疾患	15
	合 計	170	

(3) 外来受診患者の主要病名

	平成20年度		平成21年度	
	カルテ数	内数	カルテ数	内数
運動発達遅滞	135		102	
+精神遅滞		10		12
脳性麻痺	434		411	
+てんかん		121		64
水頭症	11		9	
脳原性麻痺	90		65	
+てんかん		25		9
変性疾患	28		16	
+てんかん		9		3
二分脊椎	22		21	
その他の脊髄疾患	6		8	
筋疾患	24		22	
注意欠陥多動障害	169		201	
学習障害	5		3	
広汎性発達障害	593		754	
+てんかん		31		22
+精神遅滞		93		71
精神遅滞	147		116	
+てんかん		27		15
染色体異常	38		15	
ダウン症	91		80	
奇形症候群	71		56	
言語発達遅滞	89		57	
口蓋裂, 口唇裂	8		7	
難聴	14		5	
心身症	24		32	
不登校	10		11	
てんかん	158		166	
+精神遅滞		63		53
O脚, X脚	33		32	
内反足	68		52	
股関節疾患	274		291	
股関節脱臼		78		121
ペルテス病	34		28	
脊柱側彎	38		27	
多発性関節拘縮	13		13	
骨形成不全	6		8	
骨系統疾患	9		5	
斜頸	31		27	
外反足, 扁平足	18		16	
その他の整形疾患	173		117	
合 計	2,864		2,773	

(4) 病類別手術実施状況

(単位:件)

脳	性	麻	痺	二	その他の麻痺性疾患			先天性股関節脱臼				先	筋	先	外	そ	計
					軟	骨	そ	股	観	骨	そ						
股	股	麻	そ	分	軟	骨	そ	股	観	骨	そ	天	性	天	外	そ	計
関節	関節	痺	他	背	部	切	の	関節	血	盤	他	性	性	奇	傷	の	計
軟部	骨切	性尖	(膝・	椎	手	術	他	造影・	整	骨	(抜釘	内	斜	形	他		
解離	術	足手	等)		術	術		徒手	復	切	等)	反	頸				
術		術						復		術		足					
16		16	3					11			1	8	1		1	6	63

(両側同時や他部位手術は各部位ごとに1件として集計, 手術延べ人数は41人)

(5) ギプス装着

病	脳	二	そ	先	先	外	そ	装	計
類	性	分	の	天	天	傷	の	具	
区	麻	背	其	性	性		他	採	
分	痺	椎	他	内	内			型	
			の	反	反				
			麻	足	足				
			痺	患	患				
装着数(回)	32	0	9	19	46	0	5	120	231

(6) X線等撮影

(単位:件)

区	分	21年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	計
		4月													
X線	半切	50	61	46	48	71	30	34	32	40	38	38	42	530	
	大四つ	114	92	116	118	116	91	125	115	108	129	107	144	1,375	
	計	164	153	162	166	187	121	159	147	148	167	145	186	1,905	
C T	撮影	11	11	6	12	8	3	7	5	8	8	7	5	91	

(7) 調剤

(単位:件)

区	分	21年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	計
		4月													
外	来	223	165	271	182	167	186	278	229	277	227	244	249	2,698	
病	棟	372	336	386	336	324	301	411	386	342	347	345	412	4,298	
合	計	595	501	657	518	491	487	689	615	619	574	589	661	6,996	

(8) 院外処方箋

区	分	21年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	計
		4月													
枚	数	304	277	315	336	276	321	311	312	345	315	295	385	3,792	

(9) 臨床検査

(単位:件)

区分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
生 I	74	58	57	89	124	66	51	51	53	68	50	83	824
生 II	7	2	6	7	3	2	1	1	2	3	4	10	48
免 疫	61	35	38	45	59	34	37	28	31	35	35	49	487
血 液	74	59	52	87	122	59	53	51	50	66	48	79	800
尿・便	10	2	10	17	10	8	8	3	9	6	8	6	97
微 生 物	16	9	13	12	13	7	12	7	5	8	12	11	125
血中濃度	29	32	24	26	37	24	17	23	18	26	14	25	295
脳 波	26	21	27	32	33	26	21	22	23	19	19	25	294
心 電 図	4	2	3	5	3	2	5	2	1	2	6	4	39
超 音 波	3	1	1	3			2		1	2	2	4	19
その他	2	1		38	34	33	30	40	26	23	25	31	283
計	306	222	231	361	438	261	237	228	219	258	223	327	3,311

(10) 心理判定及び治療

医師の依頼を受けて入所児童や外来通院児童を対象に、知能・発達検査、性格検査等の心理検査及び心理治療を行った。また、1棟入所児については、遊びを通じた行動観察を定期的に行い、成長の様子を把握した。

知能・発達検査としては田中ビナー、WISC-Ⅲ、WIPPSI など、性格検査としてはbaumテスト、Y-G検査などを行った。心理治療としてはカウンセリング、箱庭療法、遊戯療法を行った。

(単位:件)

区分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計	
外 来	検 査	23	17	21	29	38	13	20	15	24	20	26	34	280
	治 療	1	1		1	1	1							5
入 所 等	検 査		3	4						1	2	3	13	
	治 療	5	7	7	5	5	4	8	3	5	5	6	7	67
合 計	29	28	32	35	44	18	28	18	29	26	34	44	365	

10 機能訓練業務

理学療法・作業療法・言語聴覚療法を通して、身体機能の改善並びに基本動作・応用機能の習得を図り、もって心身の調和を促し、社会的又は日常生活を支援した。

(1) 単独入所訓練

患児それぞれの症状に応じ、処方箋に従い医学的評価、各種テスト、機能訓練を行い、機能の向上を図った。

区 分	入所児数	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
		人 数	延べ人数	人 数	延べ人数	人 数	延べ人数
21年4月	27	32	171	24	99	10	36
5月	30	30	168	27	97	10	32
6月	31	31	211	27	118	11	30
7月	30	29	157	24	115	12	39
8月	28	27	159	24	98	11	30
9月	29	29	166	25	98	11	32
10月	31	33	216	28	111	11	38
11月	32	32	184	27	104	12	34
12月	30	32	210	26	99	11	33
22年1月	29	30	193	26	92	11	34
2月	30	31	193	27	103	13	41
3月	28	30	177	26	112	13	42
計	355	366	2,205	311	1,246	136	421

(注)入所児数は、各月初日在籍数である。

(2) 母子入園訓練

機能訓練の理論と実技を母親に学んでもらい、家庭復帰後における療育訓練など心身の状態を改善し、又は克服するため必要な知識と訓練を習得させた。

(単位:人)

区 分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
理 学 療 法	39	40	44	63	61	49	46	70	67	50	54	45	628
作 業 療 法	36	31	35	53	52	45	42	51	51	42	48	38	524
言語聴覚療法	12	15	16	21	18	19	19	22	25	19	27	21	234
合 計	87	86	95	137	131	113	107	143	143	111	129	104	1,386

(3) 外来訓練

在宅障害児の家族に通所してもらい、必要に応じて理学療法、作業療法、言語聴覚療法を実施し、家庭でできる訓練を指導した。それぞれの訓練は予約担当制で実施した。

① 外来訓練月別人員

区 分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
理 学 療 法	364	352	374	387	292	300	314	299	249	324	285	373	3,913
作 業 療 法	218	155	225	220	203	224	194	211	157	236	214	236	2,493
言語聴覚療法	78	73	75	94	79	65	91	77	63	98	77	100	970
計	660	580	674	701	574	589	599	587	469	658	576	709	7,376

② 外来訓練患者年齢別内訳

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳以上	計	
理学療法	人数	3	39	47	26	23	17	25	18	24	15	22	13	26	16	18	10	11	7	3	16	379
	新患	20	21	10	6	3	3	1	3	2	5	2	3	1	2	3	1		2	1	2	91
作業療法	人数	2	24	46	42	36	36	45	22	25	18	33	14	26	14	9	6	7	1	6	12	424
	新患	12	20	23	19	12	19	4	2	7	8	6	3	4	5		1	3	3	3	4	158
言語聴覚療法	人数		12	14	15	27	27	28	9	7	7	6	5	3	1	2		1	3		1	168
	新患	7	7	4	13	10	13	3		1												58

(平成22年3月1日現在の年齢。新患は初診時の年齢)

(4) シーティング外来

ア 対象 車椅子、バギー、座位保持装置、座位保持椅子、立位保持具などを作成する際に、シーティング外来での検討を家族が希望する場合

イ 日程 毎月第2・3・4火曜日 午後1時20分から午後5時まで

ウ 内容 姿勢評価、デモンストレーション、採型・採寸、仮合わせ、納品、チェックなどシーティングシステム作成のための助言、提案、検討

エ 参加職種 医師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士

オ 実施数

	入所児	外来児	合計
対象児数	28	131	159
実施回数	74	393	467

(5) いちご教室

ア 対象 独歩不可能なダウン症児

イ 日程 第2・4水曜日 午後1時15分から午後2時30分まで

ウ 内容 小集団による訓練（自己紹介、ミニ講義、準備体操、ボール体操、個別プログラム指導、反省発表など）

エ 参加職種 医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、栄養士

オ 実施状況 20回実施し、参加者数229人(1回当たり11.5人)

(6) 上田法集団療法

ア 対象 筋緊張が亢進している児

イ 日程 第1金曜日 午後2時から午後3時30分まで

ウ 内容 講義、デモンストレーション、個別実技指導

エ 講師 筑波技術短期大学 石塚和重教授

オ 参加職種 医師、理学療法士

カ 実施状況 5回実施し、参加者数は47人(1回当たり9.4人)

11 生活支援業務

年度当初に定めた生活支援の基本方針に従い、達成目標を設定し生活支援業務を行った。個々の支援結果は次のとおりである。

(1) 日常動作支援

日常生活動作が円滑に行われるよう医師、理学療法士、作業療法士等と十分に連携を取り、自活に必要な技能の向上を図った。

(2) 学習支援

児童を未就学児と学齢児のグループに分け、未就学児には、絵本、絵画制作、視聴覚教育等を通して基本的な学習に対する関心を育てるよう努め、学齢児には、通学中の水戸養護学校教員と十分に連携を取り、個々の能力に応じて予習、復習に取り組みせ、学習能力の向上に努めた。

(3) 行事への参加支援

様々な行事への参加を通して、児童、家族、職員相互の交流を深め、より良い人間関係を確立するよう努めた。また、外部の行事に参加することにより社会体験の充実、公衆道徳の習得、社会適応力の向上を図った。

(4) 余暇活動支援

学齢児には、趣味や特技を伸ばして余暇時間を有効に活用できるように援助し、未就学児には、保育時間中に楽しく遊べるよう援助した。

(5) 家庭との連携

家族に対して必要な助言や支援を行い、児童との良好な関係を持てるように努めた。また、児童が一時帰省や週末帰省により家族との絆を深め、センターにおいて習得した能力を家庭においても発揮できるよう配慮した。

(6) 行事の実施状況

実施年月日	行 事 名	対象児童	実施場所等
H21.4.22	入学・進級を祝う会	全児童	センター内
H21.5.27	戸外レクリエーション	保育児童	センター内
H21.7.17	夏祭り	全児童	センター内
H21.7.22	マクドナルド外食	学童児童	マクドナルド
H21.7.24	綿あめ作り	学童児童	センター内
H21.7.27	おやつ(ホットケーキ)作り	学童児童	センター内
H21.7.29	マクドナルド外食	学童児童	マクドナルド
H21.7.31	スイカ割り	学童児童	センター内
H21.8.3	消防署見学	学童児童	消防署
H21.8.5	残留児外出	残留児童	水戸内原イオン
H21.8.11	お楽しみ昼食会(焼きそば)	学童児童	センター内
H21.8.12	セブンイレブン買い物	学童児童	セブンイレブン
H21.8.19	DVD鑑賞会	全児童	センター内
H21.9.2	花火大会	全児童	センター内
H21.10.28	保育秋を楽しむ会	保育児童	センター内

実施年月日	行事名	対象児童	実施場所等
H21.11.11	七五三を祝う会	保育児童	センター内
H21.12.16	クリスマス会(保育・児童)	全児童	センター内
H22.1.27	新春お楽しみ会	保育児童	センター内
H22.1.27	新春すごろく会	学童児童	センター内
H22.3.3	保育ひな祭り会	保育児童	センター内
H22.3.3	高校生を送る会	全児童	センター内

※ ほかに毎月誕生会を実施した。

(7) つくしんぼ教室

より質の高い療育と、保育士、看護師、作業療法士、医師などの異業種間の連携を目的とした幼児の小集団療育を次のとおり実施した。

実施日	5/15	6/19	9/18	10/16	11/20	1/15	2/19	計
参加者数	24	23	26	28	23	23	26	173
こども	6	8	9	11	8	9	7	58
おとな	18(5)	15(5)	17(5)	17(5)	15(2)	14(0)	19(5)	115(27)

※ ()内は実習生で、内数である。

12 看護業務

- ① 24時間利用者の生活に関わり、センターの運営基本方針に基づき利用者の命と人権を尊重し、心身ともに健やかで潤いのある生活を送れるよう、健康・安全管理を最優先とし、事故防止、感染防止に努め、一人ひとりのQOLの向上を目指して、利用者及びその家族の支援を行い、個別性を尊重した看護を提供した。
- ② 利用者の低年齢化や障害の重度化、重複化、多様化するなかで、常時モニター管理や胃瘻等の栄養管理、呼吸管理の必要な利用者のケアを行うとともに、抵抗力が弱く、寝返りや自分で訴えることのできない利用者の健康観察を行い、異常の早期発見、早期治療、回復へ向けた看護援助に努めた。
- ③ 入所児、特に帰省の難しい児童及び短期入所児に週末や夏休み、冬休み、春休み期間中に外出などの社会参加、レクリエーション等の余暇活動を設定し、生活に変化を持たせ、嬉しさ、楽しさを感じられるよう支援した。
- ④ 入所児全員に週4～6回の入浴サービスを行い、心地よい快適な生活支援を提供した。

(1) 病棟

措置入所、契約入所、保険入院、短期入所及び日中一時支援入所の児童を1棟と3・4棟の2看護単位で受け入れた。

(2) 外来

整形外科及び小児科の診療の介助を行い、感染予防、事故防止に努め、地域(在宅)支援を含めた家族指導を行った。

ギプス巻きや股関節脱臼のリーメンビューゲル装着児の入浴介助を行った。

(3) 母子入園

入所から退所まで毎日、児の健康観察を行い、母親には日常生活の援助の仕方を支援した。

(4) 手術室(中材)

児の安全と感染防止に努めた。

(5) 看護体制

児の日常生活の中で介助を要する時間帯に勤務者を厚くする体制で8時間の変則勤務と12時間の夜勤を組み入れ、10対1看護体制をとった。

勤務時間帯は次のとおりである。

日 勤	8:30~17:15	早 日 勤	7:00~15:45
早 半 勤	7:00~11:00	夜 勤	19:30~9:15
遅 日 勤	10:15~19:00	中 勤	11:15~20:00

(6) 教育・研修

- ① 全国肢体不自由児療育研究部会、関東甲信越静肢体不自由児施設療育部会において、3演題を発表した。また、看護協会の研修に参加し、士気の向上を図った。
- ② 看護手順及び新採・転入者用の指導チェックリストを見直して、改訂版を作成し、統一した看護指導が提供できるよう図った。
- ③ 高校生の1日看護体験として、10校の14名を受け入れ、医療や看護に対する理解と関心を深め、看護職の認識を高める進路指導の一環として実施した。
- ④ 茨城新聞文化福祉事業団主催「第14回希望号」に看護師をボランティア派遣し、障害者との交流を深めた。
- ⑤ 人工呼吸器の取り扱い及び呼吸療法等の院内・外の研修計画を立案し、看護職全員参加で、安全管理教育を実施し、入所児の呼吸管理に積極的に取り組んだ。

〈センター内研修実施状況〉

研 修 内 容	期 日	参加職種	講 師
看護職者の基本的責務	H21.4.22	看護師	坪井さち子
人工呼吸器の取り扱い	H21.5.1	看護師	(株)東機賢
フォーカスチャータリング(伝達)	H21.5.27	看護師	出澤 民子
発達障害	H21.6.24	医師・薬剤師・放射線技師 ・看護師・訓練士・保育士	家島 厚
クリティカルパス(伝達)	H21.7.29	看護師	出澤 民子 渡邊 弓枝
脳性麻痺に対する整形外科的治療	H21.10.21	医師・薬剤師・放射線技師 ・看護師・訓練士・保育士	伊部 茂晴
皮膚・排泄ケア(伝達)	H21.11.25	看護師	渡邊 弓枝 小野瀬陽絵
小児精神(伝達)	H22.1.27	看護師	木村 理香
感染看護(上級)(伝達)	H22.2.24	看護師	石崎 昭子 鈴木 純子

(7) センター外診療受診状況

区分	21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	計
耳鼻科				1			1						2
皮膚科	2				1						2	3	8
小児科	4	1	4	7	5	3	6	1	2	5	2	4	44
眼科	1	1	2	1			1		1	2			9
歯科		1		1	6	2	3	2	1	3	1	3	23
脳外科	2	1					1					1	5
その他		4	1	1		1	1	2	2	2	2	1	17
計	9	8	7	11	12	6	13	5	6	12	7	12	108

13 地域療育等支援業務

(1) 地域療育等支援事業

障害児の受け入れを行う幼稚園や保育所等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行う「施設支援一般指導事業」を地域療育等支援事業として実施した。

施設支援一般指導の内訳

区分	件数	人数
保育所	3	18
特別支援学校	20	259
小・中学校	15	21
その他	73	325
計	111	623

※ 指導対象障害児の状況

障害種別	人数
肢体不自由	327
重症心身障害	166
知的障害	28
その他	102
計	623

(2) 地域療育セミナー

保護者及び障害児療育に携わる保健・医療・福祉・教育関係者等に対し、療育上必要であると考えられる講演を実施し、地域療育に関する啓蒙啓発を行った(内容等については11頁に掲載)。

14 給食業務

利用者の嗜好や季節感、行事等を取り入れ、魅力的でかつ衛生的で安全な給食の提供に努めた。

また、給食を通して、利用者が正しい食習慣を身につけ、健康的な生活を送れるよう知識の普及に努めた。

(1) 給食数(単位:食)

区分	常食並	常食軟	全軟	粥菜	全粥	粥菜	分粥	流動食	離乳食	乳母-食	禁止食 (豚肉)	調乳	その他	合計	母付	親添
21年4月	1,261	105	174	0	0	0	1	81	0	79	90		1,791	79		
5月	1,149	77	191	0	0	0	1	108	0	92	118		1,736	111		
6月	1,228	90	397	0	0	0	0	101	0	79	110		2,005	47		
7月	967	94	465	0	0	0	2	51	0	81	93		1,753	125		
8月	758	98	443	0	0	0	1	49	0	82	93		1,524	102		
9月	1,144	90	361	0	0	0	0	78	0	86	69		1,828	103		
10月	1,182	93	331	2	0	0	0	118	0	86	67		1,879	119		
11月	1,132	134	335	0	0	0	1	74	35	83	90		1,884	42		
12月	1,345	96	285	0	0	0	0	59	24	88	93		1,990	11		
22年1月	1,142	0	335	11	0	0	0	124	0	84	93		1,789	104		
2月	1,181	0	356	0	0	0	2	126	0	84	84		1,833	112		
3月	1,274	0	354	0	0	0	4	48	0	89	93		1,862	36		
計	13,763	877	4,027	13	0	12	1,017	59	1,013	1,093	0	21,874	991			
月平均	1,147	73	336	1	0	1	85	5	84	91	0	1,823	83			

常食並菜内訳

エネルギー(kcal)	800	1,000	1,100	1,200	1,300	1,500	1,800	2,000	計
食数	0	2,741	5	323	3,413	5,413	1,263	605	13,763

全粥軟菜内訳

エネルギー(kcal)	800	900	1,000	1,100	1,200	1,300	1,500	1,800	計
食数	0	40	1,713	90	35	2,105	30	14	4,027

(2) 誕生会食・行事食

誕生会や各種行事時に、子ども達の希望等を取り入れた献立を提供し、喜んでもらえる給食作りに努めた。

(3) 栄養指導

	対象者	指導回数	指導人員
個別指導	外来受診者	4回	4人
集団指導	母子入園者	6回	18人
	いちご教室参加者	1回	11人

(4) 給食会議

隔月で5回実施し、より良い給食作りのために、他職種とともに、給食内容等について検討した。

(5) 栄養摂取量

区分	栄養量								栄養比率	
	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	レチノール 当量(μg)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	穀類カロリー -比(%)	動物たんぱ く質比(%)
21年4月	1,880	75.2	864	9.2	1,507	2.72	1.74	127	42.0	59.9
5月	1,915	76.3	869	9.4	1,495	2.65	1.73	136	41.3	59.9
6月	1,911	76.5	869	9.7	1,534	2.73	1.75	142	41.7	58.9
7月	1,900	75.6	853	9.5	1,560	2.68	1.75	139	41.6	58.9
8月	1,887	74.8	853	9.5	1,492	2.66	1.72	130	41.9	59.5
9月	1,911	75.3	858	9.5	1,532	2.67	1.78	138	41.5	58.9
10月	1,940	76.1	865	10.1	1,568	2.71	1.76	141	41.3	58.6
11月	1,920	74.6	864	10.1	1,536	2.72	1.71	132	42.0	57.9
12月	1,913	74.2	858	9.8	1,579	2.62	1.69	141	41.1	57.5
22年1月	1,903	75.7	862	10.0	1,595	2.67	1.75	144	41.5	58.2
2月	1,876	73.6	871	10.1	1,578	2.68	1.73	141	41.7	57.6
3月	1,886	73.4	895	10.0	1,564	2.69	1.75	135	41.7	57.1
合計	22,842	901.3	10381	116.9	18,540	32.2	20.86	1,646	499.3	702.9
月平均	1,904	75.1	865	9.7	1,545	2.68	1.74	137	41.6	58.6
加重平均 栄養所要量	1,924	46.7	712	9.3	530	1.12	1.27	81	**	**

15 ボイラー業務等

当センターにおいて必要な炊事、暖房(冬季)、手術、入浴、給湯等の用に供するためのボイラー運転をボイラー技士3名(冬季は4名)が交代勤務で行っており、設備の点検保守には細心の注意を払い、正常運転に努めた。

16 院内感染対策委員会

センターにおける院内感染対策の推進を図ることを目的として開催した。

開催期日	検 討 内 容
H21.4.1	新委員確認, 前月の細菌検査報告, 前年度のまとめと年間計画の策定, 新規採用者などの感染症調査, 研修会の計画
H21.4.2	転入者等オリエンテーション
H21.5.8	前月の細菌検査報告
H21.5.20	院内感染対策研修会 「手指消毒・MRSA感染対策」 講師: 吉田製薬MR 千葉氏
H21.6.3	前月の細菌検査報告, 新型インフルエンザの現況と対策, 外来トイレの石鹸について, 研修会の報告
H21.7.3	前月の細菌検査報告
H21.8.5	前月の細菌検査報告, 新型インフルエンザの現況と対策, 保健所立入検査に向けて, チェックリストの確認
H21.9.4	前月の細菌検査報告
H21.10.7	前月の細菌検査報告, 新型インフルエンザの現況と対策, 季節性インフルエンザの予防接種について, 入所児感染症調査及びワクチン接種について, 職員感染症調査について(年度中途採用者), 感染性胃腸炎予防の啓蒙, 院内研修会について
H21.11.6	前月の細菌検査報告
H21.12.2	前月の細菌検査報告, 新型インフルエンザの現況と対策, インフルエンザ予防接種状況報告, 入所児感染症調査及びワクチン接種について, 感染性胃腸炎予防の啓蒙, 研修会の計画
H22.1.8	前月の細菌検査報告
H22.1.13	院内感染対策研修会 「感染看護研修報告ー感染予防対策, 感染性廃棄物についてー」 講師 青山専門員(准看護師)
H22.2.3	前月の細菌検査報告, 新型インフルエンザの現況と対策, 委員会の構成について, 感染性廃棄物の処理について, 研修会報告
H22.3.12	前月の細菌検査報告

重要事項

- 1 新型インフルエンザへの対策として, マニュアル作成とワクチン接種を行った。
- 2 季節性インフルエンザ及び新型インフルエンザに罹患した入所児はいなかった。
- 3 入所児の感染症記録が不十分であったため確認調査した。
- 4 感染性医療廃棄物の処理について検討した。

17 医療安全管理委員会

センターにおける医療事故防止、医療安全啓発のために、事故報告と対応策の検討を行い、サービスの改善を図った。また、新人(転入者)研修会(オリエンテーション)の実施、医療安全研修会(2回)、医薬品安全管理研修会(1回)及び医療機器安全管理研修会(1回)を開催した。

さらに、耐震診断の結果を受けて、緊急管理マニュアルを改訂し、避難経路を再検討した。

会 議	開 催 期 日	検 討 内 容
新人研修会	H21.4.1	医療安全対策の考え方
第77回	H21.4.17	平成20年度のまとめ 委員、推進員の変更と要項の改訂 平成21年度の計画
医療機器安全管理研修会	H21.5.1	「人工呼吸器の取扱について」 講師：(株)東機質職員 参加者15名
第78回	H21.5.13	事故報告と対策の検討 平成21年度の計画・研修会など 耐震診断結果を受けての避難経路の再検討
第79回	H21.6.3	事故報告と対策の検討 医療安全研修会について
第80回	H21.7.1	事故報告と対策の検討 第1回医療安全研修会計画 地震時の避難経路の再確認
第1回医療安全研修会	H21.7.15	「情報漏洩防止への実践的な取り組み」(伝達講習) 講師：永山智一主任 参加者42名
第81回	H21.8.14	事故報告と対策の検討
第82回	H21.9.2	事故報告と対策の検討 鳴門病院での事故経過資料と実際に事故が起きたときの対応について
第83回	H21.10.9	事故報告と対策の検討 第2回医療安全研修会計画
第84回	H21.11.4	事故報告と対策の検討 医薬品安全管理研修会計画 医薬品の安全使用のための業務手順書の改正について
第2回医療安全研修会	H21.11.18	「医療安全文化と事故防止対策についてー特に事故の構造に基づく分析手法」(伝達講習) 講師：小森智恵子専門員、高德直美主任 参加者34名
第85回	H21.12.4	事故報告と対策の検討 医療安全管理指針の検討
医薬品安全管理研修会	H21.12.9	「生食フラッシュロックについて」 講師：バクスター KK 竹本美紀氏 参加者15名
第86回	H22.1.6	事故報告と対策の検討 第2回医療安全研修会報告 医薬品渡し忘れ防止のための掲示について 指はさみ事故の防止について 1棟乳児室の巡回
第87回	H22.2.19	事故報告と対策の検討
第88回	H22.3.3	事故報告と対策の検討 1年間のまとめ

なお、平成17年度からの5年間の医療事故(インシデント)の状況は、次表のとおりである。平成21年度は、29件と前年度に比べ増加した。病的骨折が2件あったが、大きな事故は目立たなかった。給食の異物混入については、給食での対策や看護師等とのダブルチェックで問題は防げている。歩行できる児童が減少しているためか、転倒事故は減少している。

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	計
車いす転倒	7	3	1	0	2	13
転落	5	3	1	1	0	10
転倒	10	16	18	3	5	52
薬局関係	0	2	2	1	1	6
誤薬，欠薬など	11	9	8	1	2	31
気切，EDチューブ	1	3	3	0	0	7
点滴など処置トラブル	1	1	2	1	3	8
整形外科関係	3	2	2	0	0	7
給食関係	9	4	5	2	12	32
その他	6	10	16	5	4	41
合計	53	53	58	14	29	207
うち短期入所児	7	4	3	1	0	15

18 実習生等の受入

学校名等	実習区分	人数	期間	備考
県立中央看護専門学校	看護	4	H21.5.26~5.29	3年課程 臨床実習
		5	H21.6.16~6.19	
		5	H21.10.6~10.9	
		4	H21.10.20~10.23	
		3	H21.11.24~11.27	
		5	H22.1.26~2.1	
		4	H22.3.2~3.5	
県内高校	看護1日体験	7	H21.7.28	高校生対象
		7	H21.7.31	
リリー保育福祉専門学校	保育	2	H21.5.11~5.25	
		2	H21.5.27~6.10	
つくば国際短期大学	保育	4	H21.6.29~7.10	
		4	H21.7.13~7.27	
常磐短期大学	保育	4	H21.7.28~8.7	
		4	H22.2.15~2.25	
茨城女子短期大学	保育	3	H21.8.17~8.27	

学 校 名 等	実習区分	人数	期 間	備 考
茨城キリスト教大学	保育	4	H21.9.7~9.24	
	社会福祉	1	H21.8.17~9.18	
城西国際大学	社会福祉	1	H21.10.13~10.28	
常磐大学	社会福祉	2	H22.2.22~3.9	
茨城大学	介護体験	1	H21.6.22~6.26	
		2	H21.7.6~7.10	
白鷗大学	介護体験	1	H21.6.22~6.26	
茨城県立医療大学	理学療法	1	H21.4.6~5.22	臨床実習
	作業療法	1	H21.4.6~5.22	臨床実習
		1	H21.6.8~7.24	臨床実習
		4	H22.2.8	臨床体験実習
筑波技術大学	理学療法	1	H21.5.25~7.17	臨床実習
		1	H21.8.31~10.23	臨床実習
東京衛生学園専門学校	理学療法	1	H21.6.1~7.24	臨床実習
アール医療福祉専門学校	理学療法	1	H21.8.24~10.16	臨床実習
	作業療法	1	H21.8.24~10.16	臨床実習
水戸メディカルカレッジ	理学療法	3	H21.5.12~5.14	理学療法概論実習
		1	H22.2.1~2.26	臨床実習
		2	H22.3.1~3.12	クリニック・クラブ
弘前大学大学院	理学療法	1	H22.2.8~3.5	研修
県内高校	県内特別見学会	3	H21.7.30	高校生対象

19 平成21年度歳入歳出予算(最終)
 こども福祉医療センター費(運営費)

歳入

(単位:千円)

科 目	事 項	金 額	摘 要
特 定 財 源	国庫支出金	40,886	児童福祉法第53条(国補5/10)
	分担金及び 負担金	28,933	障害者自立支援法第29条 児童福祉法第56条
	使用料及び 手数料	359,098	茨城県心身障害者施設診療料等徴収条例
	証明手数料	1,889	
	諸収入	675	雑入 (母親及び付添給食) 公衆電話利用料
計		431,461	(前年度最終 462,396)
一般財源		401,678	(前年度最終 393,662)
合計		833,139	(前年度最終 856,058)

歳出

(単位:千円)

事 項	金 額	摘 要
職員給与費	586,270	
事務費	80,719	
事業費	166,150	
合計	833,139	(前年度最終 856,058)

平成22年度事業計画の概要

上肢・下肢及び体幹等の機能に障害のある児童に対して医療及び生活指導を実施し、自立自活に必要な機能の改善及び知識技能の習得に積極的に取り組む。

1 平成22年度歳入歳出予算(当初)

(1) こども福祉医療センター費(運営費)

歳入

(単位:千円)

科 目	事 項	金 額	摘 要
特 定 財 源	国庫支出金	34,096	児童福祉法第53条(国補5/10)
	分担金及び負担金	31,342	障害者自立支援法第29条 児童福祉法第56条
	使用料及び手数料	355,886	茨城県心身障害者施設診療料等徴収条例
	雑収入	1,969	証明手数料
		437	雑収入 (母親及び付添給食、 公衆電話利用料)
計		423,730	
一般財源		401,667	
合 計		825,397	

歳出

(単位:千円)

事 項	金 額	摘 要
職 員 給 与 費	561,789	
事 務 費	94,170	
事 業 費	169,438	
合 計	825,397	

(2) 県立施設整備費

ア 備品購入費	2,646千円
イ 庁舎等維持修繕費	0千円
計	2,646千円

2 会議の開催等

(1) センター内委員会の開催

ア 運営改善検討委員会

センターにおける県民サービス(入所児及び外来児処遇)の向上について、検討を行い、可能なものについて改善を図ることを目的として開催する(毎月1回・必要時)。

イ 院内感染対策委員会

センターにおける院内感染対策の推進を図ることを目的として開催する(毎月1回・第1水曜日。その他全職員を対象に研修会を年2回開催)。

ウ 医療安全管理委員会

センター内における医療事故の未然、再発防止と医療事故発生時の適切な対応を図ることを目的として開催する(毎月1回・第1水曜日。その他研修会を開催)。

エ 安全衛生委員会

職員の健康管理と職場環境の改善を図ることを目的として開催する(毎月1回・第3水曜日)。

(2) その他

ア 地域療育セミナーの開催

イ こども福祉医療センター療育研究会の開催

ウ 療育カンファレンス(毎月1回・最終水曜日)

入所児童を対象に個別の療育計画について検討する。

エ 外来カンファレンス(毎月1回・第3水曜日)

外来及び母子棟入所児を対象に個別の療育計画について検討する。

オ 個別支援会議(水戸養護学校との共催)

カ 小児リハ連絡協議会及び小児リハに関するセミナーの開催等

県指定小児リハ推進支援センターの事業として実施する。

3 医療業務

整形外科及び小児科の医療並びにそれぞれの疾病障害に応じた機能訓練や心理判定を行い、障害の回復を図る。

なお、外来診療においては、障害児の治療を行うほか、家庭での機能訓練の方法を習得させるとともに療育についての相談にも応じる。

- ① 整形外科的治療及び手術
- ② 小児科的治療及び相談
- ③ 機能訓練
- ④ 各種検査の実施
- ⑤ 各種診断書及び意見書の作成
- ⑥ 院内カンファレンス(療育、外来及びMRI)の開催
- ⑦ 保健所、市町村等の障害児療育事業の支援
- ⑧ 外来及び入所児の調剤業務及び薬剤保管
- ⑨ レントゲン・CT撮影及びフィルム管理
- ⑩ 知能検査、性格検査及びカウンセリングの実施

【1週間の業務】

月	外来診療，脳波検査，心電図検査，装具診
火	外来診療，脳波検査，心電図検査，シーティング外来(月3回)
水	外来診療，ギプス・装具診，療育カンファレンス(月1回)，外来カンファレンス(月1回)，いちご教室(月2回)
木	外来診療，手術，発達障害外来，脳波検査，心電図検査
金	外来診療，脳波検査，心電図検査

4 機能訓練業務

(1) 機能訓練科の目標

理学療法，作業療法，言語聴覚療法を通して，身体機能の改善及び基本動作，応用機能の習得を図り，もって心身の調和を促し，社会的又は日常生活の独立を習得させる。

ア 運動機能の向上及び改善

イ 活動性の調整

ウ 協調性の向上

エ 摂食指導

オ 感覚統合訓練

- カ 発語・構音訓練
- キ 心身の適応
- ク 克服意欲の高揚

(2) 単独入所訓練

患児それぞれの症状に応じ、依頼票に従い医学的評価、各種テスト、機能訓練により、機能の向上を図る。

- ア 理学療法
- イ 作業療法
- ウ 言語聴覚療法

(3) 母子入園訓練

身体に障害を持つ児童とその母親に入所してもらい、家庭での療育訓練に必要な機能訓練の理論と実技の習得を図る。

- ア 健康管理 正しいしつけ 母子分離
- イ 正しい発達 正常な姿勢反射
- ウ 運動感覚 正常パターン
- エ 講義 機能訓練

(4) 外来訓練

在宅障害児の家族に訓練習得を目的とする。必要に応じて理学療法、作業療法、言語聴覚療法を実施する。

- ア 正しい発達の理解
- イ 訓練の実技

(5) 集中評価訓練

学齢期の脳性麻痺児について、機能低下や二次的障害が多くなるため新たな療育目標を検討し、生活支援も含め家族の介護負担を少なくすることを目的として実施する。

- ア 対象児 教育の継続から水戸養護学校に通学中の児童
- イ 入所期間 原則1ヶ月間
- ウ 内容 運動機能やADLなどの評価や指導、知能やSM社会生活能力テストなどの実施
- エ 報告 入所及び退所サマリーの作成

(6) その他の訓練等

- ア 温熱電気光線療法の実施
- イ 各種評価テストの実施

(7) 母子入園

- ア 入所は各月の初日、退所は月末とする。
- イ 診察は、入所時、退所時及び入所中必要時に行う。
- ウ 1週間に日課は、日課表のとおりであり、機能訓練は医師の指示により理学療法と作業療法は週5回、摂食指導を含む言語聴覚療法は週2回を原則として行う。また、保育士による保育、看護師による衛生や日常生活についての指導などを行う。
- エ 療育講義は、原則隔月を含め月8回を予定する。
- オ 入所中に運動と摂食機能などの評価を行う。また、必要に応じ心理や脳波などの検査も行う。
- カ 入所期間は、原則2ヶ月とする。

療育講義の内容及び担当

内 容	担 当	内 容	担 当
療育総括	センター長	母親のストレス	心理判定員
療育全般	小児科医	食物・栄養	栄養士
二次的障害・補装具	整形外科医	家庭での訓練	理学療法士
家庭での看護全般予防接種関係	看護師	家庭での接し方	作業療法士
福祉・育児	児童指導員	家庭での摂食	言語聴覚士

日課表

曜 日	月	火	水	木	金
午前	6:30	起 床	起 床	起 床	起 床
	7:00	朝 食	朝 食	朝 食	朝 食
	7:30	清 掃	清 掃	清 掃	清 掃
	9:00	検 温	検 温	検 温	検 温
	12:00	保 育 (帰 棟)	保 育 集団保育(第3)	保 育	保 育
	1:00	訓 練	訓 練	訓 練	訓 練
午後	4:00	講 義	講 義 外来ソファリス(第3)	講 義	講 義
	5:00	お や つ	お や つ	お や つ	お や つ
	8:00	清 掃	清 掃	清 掃	清 掃
	8:30	夕 食	夕 食	夕 食	夕 食
	10:00	就寝準備	就寝準備	就寝準備	就寝準備
		(子)消灯	(子)消灯	(子)消灯	(子)消灯
		(全)消灯	(全)消灯	(全)消灯	(全)消灯

5 生活支援業務

(1) 生活支援の基本方針

センターにおいての生活に潤いを持たせ、将来の社会生活に適應できる素養の習得を図る。

(2) 支援目標

- ア 肢体の不自由さを克服するとともに、情緒の安定を図り、自信のある生活態度を養う。
- イ 集団生活の中で助け合いの精神と忍耐力を養い、社会適應能力・自主独立能力を養う。
- ウ 人に信頼される豊かな心を持った人間性を養う。

(3) 支援内容

ア 児童自治活動

児童自らが生活のきまりや種々の行事計画を、職員の援助の下に企画立案し、実践する自治会活動を行い、児童の自主性、実践力を育み、社会適應能力の向上を図るよう努める。

イ 日常生活動作支援

日常生活動作が円滑に行われるよう、医師、理学療法士、作業療法士、看護師と十分に連携を取り、自活に必要な知識や技能の向上を図る。

ウ 学習支援

〈未就学児童〉 保育時間の中で、絵本、絵画制作、視聴覚教育等を通して、基本的な学習に対する関心を育てるよう努める。

〈学齢児童〉 学習能力の遅滞がないように個々の能力に応じて予習復習支援を行う。

エ 行事への参加支援

諸行事への参加を通して、児童、家族、職員相互の交流を深め、より良い人間関係を確立するように努める。また、外部の行事に参加することにより社会経験を豊かにし、社会適應能力の向上に努める。

オ 余暇活動支援

余暇時間を有意義に過ごせるよう仲間とのゲーム、絵画制作等を楽しみながら取り組めるよう努める。

(4) 家庭との療育の一体化

ア センターと家庭が一体となって療育を推進するため、家族に対しても必要な助言や支援を行う。

イ 一時帰省及び週末帰省を設け、家族との絆を深めるとともに、児童がセンターにおいて習得した生活能力を家庭においても発揮できるように努める。

(5) 生活支援計画

	4月	5月	6月	7月
目標	仲間作りをする	戸外で元気に遊ぶ楽しさを知る	梅雨時期の衛生に注意する	暑さに負けない体力を作る
行事	入学式 始業式 入学・進級を祝う会	こどもの日 母の日 戸外レクリエーション(保育)	歯の衛生週間 時の記念日 父の日	夏祭り 七夕会・保育七夕音楽会 終業式 夏季日課(7・8月)
支援内容	新年度の心構えを考える 新入所児と仲良く生活する	こどもの日の意義を知る 母への感謝をする 交通ルールを守る 社会性を養う	口腔・衣類等の衛生に注意する 時間を守る 父への感謝をする	規律ある生活をする 夏の健康に留意する 社会性を養う
	8月	9月	10月	11月
目標	夏の遊びを十分に体験する	秋の季節を知る	読書やスポーツに親しむ	感謝の心を養う
行事	夏季一時帰省 夏季外出(残留児) ビデオ・DVD鑑賞会	始業式 お月見 花火大会	読書週間 秋の夕べを楽しむ会 秋を楽しむ会(保育)	七五三祝会(保育) 県民の日
支援内容	自立性・協調性を養う 家族との交流を図り療育をさらに推進する	新学期の心構えの実行 自然を観察して季節感を味わう	読書・スポーツに積極的に取り組む 社会性を養う 親子の絆をさらに強化する	成長したことに喜びを持つ
	12月	1月	2月	3月
目標	1年間の反省をする	1年の計画を立てる	寒さに負けない体を作る	成長したことを喜ぶ
行事	クリスマス会 終業式 冬季一時帰省	始業式 すごろく大会 保育お楽しみ会(保育)	節分祭	卒業式・修了式 春季一時帰省 高校卒業生をおくる会 保育修了式(保育) ひな祭り会(保育)
支援内容	クリスマス会において演技の発表・観賞して楽しむ 風邪の予防をする	新年の計画を立て実行する 風邪の予防をする	風邪の予防をする	卒業・進学・退所を喜び 風邪の予防をする
月例行事：誕生会、週末帰省				

(6) 保育指導計画

年間目標

- 1 保育者の笑顔とあたたかい関わりの中で、心を育て、情緒の安定を図る。
- 2 安全で快適な環境の下で、個々の発達や障害の程度に応じた配慮をし、色々な遊びを通して成長を促す。

区分	Ⅰ期		Ⅱ期			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
目標	新しい保育者に慣れよう 春の季節を楽しもう	保育者や友だちと楽しく触れ合おう 暖かい外気に触れる機会を持つ	雨期の健康に留意して、元気に過ごす 色々な音楽を聴いて楽しむ	暑さに負けずに元気に過ごす 水分を摂るようにする	体調の変化に注意し、無理の無いように過ごす 水遊びなどの夏の遊びを体験する	季節の変化を感じる 色々なあいさつがあることを知り、あいさつを心がける
健康	個々の体調に配慮し、天気の良い日に外気浴、散歩等を取り入れ、健やかに過ごす 気温に合わせて、衣類の調節を行う		梅雨時期は、気温の変化が大きいため、特に体調の変化に留意する 気温に配慮し、きちんと水分補給できるようにする		気温に合わせて、衣類の調節を行う	
人間関係	新しい職員と接しながら、少しずつ慣れるようにする 保育者や友だちとの関わりを楽しむ		要求を体や声で表し、保育者に受け止めてもらい安心して生活する 保育者や友だちとの関わりを楽しむ			
環境	春の草花を見たり、触れたりして季節の移り変わりを楽しむ 散歩や遠足などで戸外に出る機会を持つようにし、春の季節を感じる		かたつむりやあじさいの花等を通して、梅雨期の自然を知る		朝顔やひまわりの花やせみの鳴き声などから、夏の自然を知る	虫の音や涼しくなったことなどから季節の移り変わりを知る
言葉	保育者と一緒に絵本や紙芝居などを見て楽しむ 名前を呼ばれたことがわかり、返事をする 手遊びなどで、言葉を知り、やりとりを楽しむ		絵本や紙芝居などを通して色々な言葉を聞く機会を多く持つ 「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつの言葉になれ、使えるように働きかける			
表現	保育者と一緒にて遊びをしたり、身体を動かしたりして楽しむ 歌を聴いたり、歌ったりして楽しむ		手遊びをしたり、リズムに合わせて身体を動かしたりして楽しむ 歌を聴いたり、歌ったりして楽しむ 水や粘土など、色々なものに触れ、感触を楽しむ			
行事	新入生を祝う会	つくしんぼ教室 誕生会 戸外レクレーション	つくしんぼ教室	夏祭り 誕生会	ビデオ、DVD鑑賞会 花火大会 夏季外出(残留児)	つくしんぼ教室 十五夜 誕生会

区分	Ⅲ期			Ⅳ期		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	身体を使って元気に遊ぶ 戸外に出て、身近な自然に触れる	気温の変化に留意し、元気に遊ぶ 紅葉した葉や木の实を使って遊ぶ	クリスマス行事に楽しく参加する 色々な音を出したり、聴いたりして遊ぶ	お正月の遊びを楽しむ 冬の自然を知る	寒さに留意しながら、元気に過ごす 紙芝居や絵本の読み聞かせを楽しむ	成長をみんなで喜び合う 春の訪れに気付く
健康	体を動かす遊びを多く取り入れ、体力がつくようにする		暖房による乾燥に注意し、加湿する等快適に過ごせるようにする	保育室の温度、湿度に気をつける		
人間関係	要求を体や声で表し、保育者に受け止めてもらい安心して生活する 遊びを通して保育者や友だちと一緒にいる心地よさや楽しさを共感する					
環境	戸外に出て、季節の移り変わりが感じられるようにする 紅葉した葉や木の实などにふれることで秋の自然を知る	クリスマス行事に参加する	氷や雪などの冬の自然にふれる	節分を通して季節の移り変わりを感ずる	春への移り変わりを感ずる	
言葉	絵本や紙芝居などを通して、色々な言葉を聞く機会を多く持つ あいさつ場面を心がけ、繰り返しのやりとりを通してあいさつの言葉を覚える 言葉がけを多くし、発語を促す					
表現	音楽に親しみ、聴いたり歌ったり、身体を動かしたり、簡単なリズム楽器をならしたりして楽しむ 色々な感触のものに触れて楽しむ 色々な素材を使って、描いたり、作ったりして遊ぶ					
行事	つくしんぼ教室 誕生会 秋を楽しむ会	つくしんぼ教室 誕生会	クリスマス会 誕生会	つくしんぼ教室 誕生会	節分 つくしんぼ教室	高校生を送る会 ひな祭り会 誕生会 保育修了式

(7) 入所児童の生活日課表

	学 齡 児	未就学児
7:00	起 床	起床
	洗面 朝食準備 朝食 整容	
8:00	登校準備	
	訓練・登校	訓練・保育
9:00	9:00 ~ 9:40 1時限	訓
	訓練・ADL・学校	練
10:00	9:50 ~ 10:30 2時限	・
	訓練・ADL・学校	保
11:00	10:40 ~ 11:25 3時限	育
	訓練・ADL・学校	
12:00	11:35 ~ 12:15 4時限	
	昼 食	昼 食
13:00		
	訓練・ADL・学校	午 睡
14:00	13:20 ~ 14:00 5時限	
	訓練・ADL・学校	おやつ・入浴・ 着脱衣
15:00	14:10 ~ 14:50 6時限	
	入浴・自主活動・ おやつ・着脱衣	保 育
16:00		
	清 掃 夕 食	夕 食
17:00		
	学 習	自 由 時 間
18:00		
	自由時間・水分補給	就寝準備
19:00		
	就寝準備	就 寝
20:00		
	就 寝	
21:00		

※ 入浴は、毎週月・火・木・金(祝日の場合は除く)とする。

訓練・ADL支援は、個別日課により行う。

ADL支援は、日常生活に必要な諸動作、体験を個別又は集団的に支援する。

6 看護業務

(1) 業務の目標

肢体不自由児施設の看護は、こどもの命を守ることを最優先するとともに、「効果的な療育」の実践者であることを自覚し、看護の確率を図るために次の目標を持って努力する。

- ・事故防止、感染防止に努め、安全で快適な生活ができるよう援助する。
- ・安定した健康状態を維持増進させるため、全身状態を監察し、異常の早期発見に努める。
- ・利用者のプライバシーを尊重して、豊かな環境作りを目指し、各個人に沿った看護を行う。
- ・家族との連携を密にとり、より良い関係の構築を目指す。
- ・自己啓発を行い、専門職として看護の本質を研究し、知識・技術の習得に努める。

(2) 看護単位・看護体制及び看護の基準

- ・看護単位：1棟50床及び母子棟7床、外来、手術室
(3・4棟100床及び母子棟3床は休床)
- ・看護体制：障害者施設等入院基本料(10対1)
受持制とチームナーシング

(3) 勤務体制及び勤務時間

(変則二交代制)

日 勤	8:30~17:15	長日勤	8:30~19:15
遅日勤	10:15~19:00	夜 勤	18:30~翌9:30
早日勤	7:00~15:45		

(4) 看護活動

入所児の健康状態を把握し、症状の変化に対応できるよう常に観察を行い、カンファレンスなどの検討をもとに計画を立て看護を行う。

小児看護は発達の途上にあるという特殊性を踏まえて、センターの主役は児童であることを認識し、日常生活上の環境を整えながら、各自の発達段階に応じた継続的な看護を行う。

(5) 週間業務予定

	業 務	行 事 等
月	児童帰所受付、手術機械セット組み、脳波・心電図検査介助、X線・CT撮影介助、入浴介助(沐浴)、装具診(PM)	学校・セ連絡会(第3週 15:00)
火	脳波・心電図検査介助、X線・CT撮影介助、入浴介助(沐浴)、定期処方(隔週)、リネン交換	師長・副師長会議(第1週 13:30) 副師長会議(第1週 14:30) 給食会議(偶数月第4週 13:00) プリセプター会議(随時)、記録委員会(随時)
水	装具診(AM)、沐浴清拭介助	療育カンファレンス(最終週 14:40) 外来カンファレンス(第3週 13:00) 個別支援会議(第1週・第2週)
木	手術日 脳波・心電図検査介助、入浴介助(沐浴)	
金	脳波・心電図検査介助、X線・CT撮影介助、入浴介助(沐浴)、児童帰省準備	定例連絡会議(毎週 8:30) 病棟会議(毎週)

(6) 看護業務日課

時間	業務内容	時間	業務内容
6:00	起床準備 起床・更衣・排泄介助	19:00	就寝準備 自室へ移動
7:00	朝食準備 児を食堂へ移動	19:30	夜勤者へ申送り 排泄介助
7:15	食事介助	20:00	乳幼児消灯 就寝前与薬
7:30	歯磨き介助 排泄介助	21:00	消灯
8:00	登校準備	22:00	消灯後
8:30	日勤者への申送り	～	1時間毎巡視
8:50	登校・訓練・保育誘導	6:00	2時間毎体位変換
9:00	臥床児観察 清拭 居室環境整備		※24時間呼吸器管理
10:15	与薬準備 乳幼児沐浴		※要医療児時間処理(点滴管理, バイタルサイン, SaPO ₂ チェック, 肺ケア, 体位変換, 与薬, 経管栄養, おむつ交換等)
11:15	申送り ミニカンファレンス		※時間で水分補給, 排尿訓練など
12:00	昼食準備		※日常生活動作指導, 学習指導(個々の発達段階に応じた)
12:15	昼食介助		※病室(居室)の編成と管理
13:00	排泄介助 登校・訓練誘導 幼児午睡介助		※家族指導
14:30	おやつ介助 検温		※外来看護業務
15:00	入浴介助 清拭 余暇時間の指導		
17:00	夕食準備		
17:30	夕食介助 与薬		
18:00	歯磨き介助 排泄介助		

7 地域療育等支援業務

(1) 地域療育等支援事業

障害児の受け入れを行う幼稚園や保育所等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行う「施設支援一般指導事業」並びに在宅障害児(者)及び保護者に対し、外来の方法により相談指導を行う「在宅支援外来療育等指導事業」を地域療育等支援事業として実施する。

(2) 指定小児リハ推進支援センター事業

県指定小児リハ推進支援センターとして、小児リハ・ステーション、関係団体等と連絡協議会を開催し、地域内のリハビリネットワークの連携を推進するとともに、小児リハビリテーションに関するセミナーを開催し、啓発等を行う。

(3) 地域療育セミナー

保護者及び障害児療育に携わる保健・医療・福祉・教育関係者等に対し、療育上必要であると考えられる講演を実施し、地域療育に関する啓発をおこなう。

付 表

1 市町村別入所児童数 (単独入所のみ)

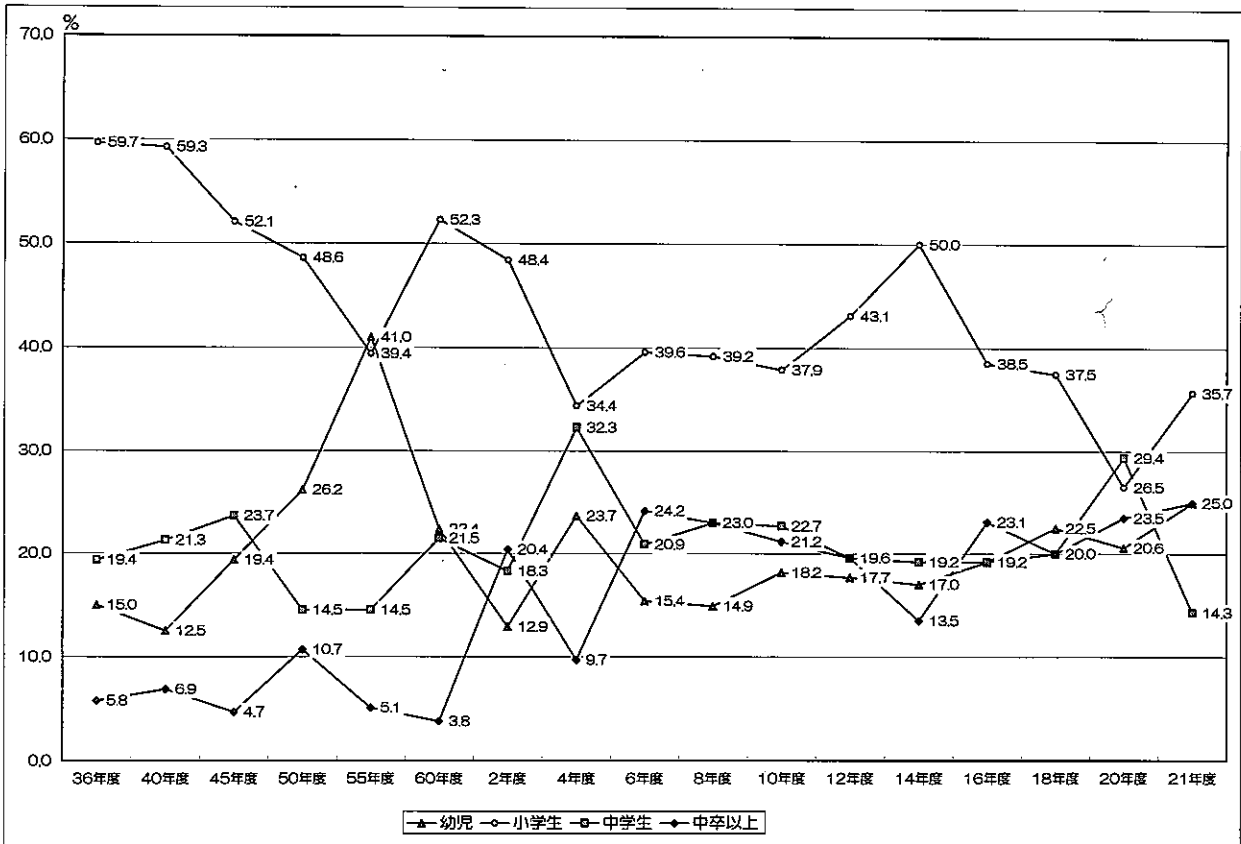
市 町 村 名	H18	H19	H20	H21
水 戸 市	8	8	2	2
日 立 市	3	3	1	3
土 浦 市	4	1	1	
古 河 市	2			
石 岡 市	2		1	1
龍ヶ崎 市	1	1		
常陸太田 市	1			
高 萩 市			1	1
北 茨 城 市		1		
笠 間 市	3	2	1	
取 手 市			1	1
牛 久 市	2			
つくば 市	2		1	1
ひたちなか 市	12	4	1	
鹿 嶋 市			1	
潮 来 市	1			
常陸大宮 市	2	1	2	
那 珂 市	1	1		
筑 西 市	1			
坂 東 市	1			
稲 敷 市	1			
桜 川 市	1		1	
神 栖 市	1			1
鉾 田 市	2	1	1	
小 美 玉 市	1	1	1	
茨 城 町	1			
大 洗 町	1			1
城 里 町	2		1	
東 海 村	1	1	1	
阿 見 町				1
八 千 代 町	2			
県 外	3		1	1
合 計	62	25	19	13

2 病類別入所児童の推移(単独入所のみ)

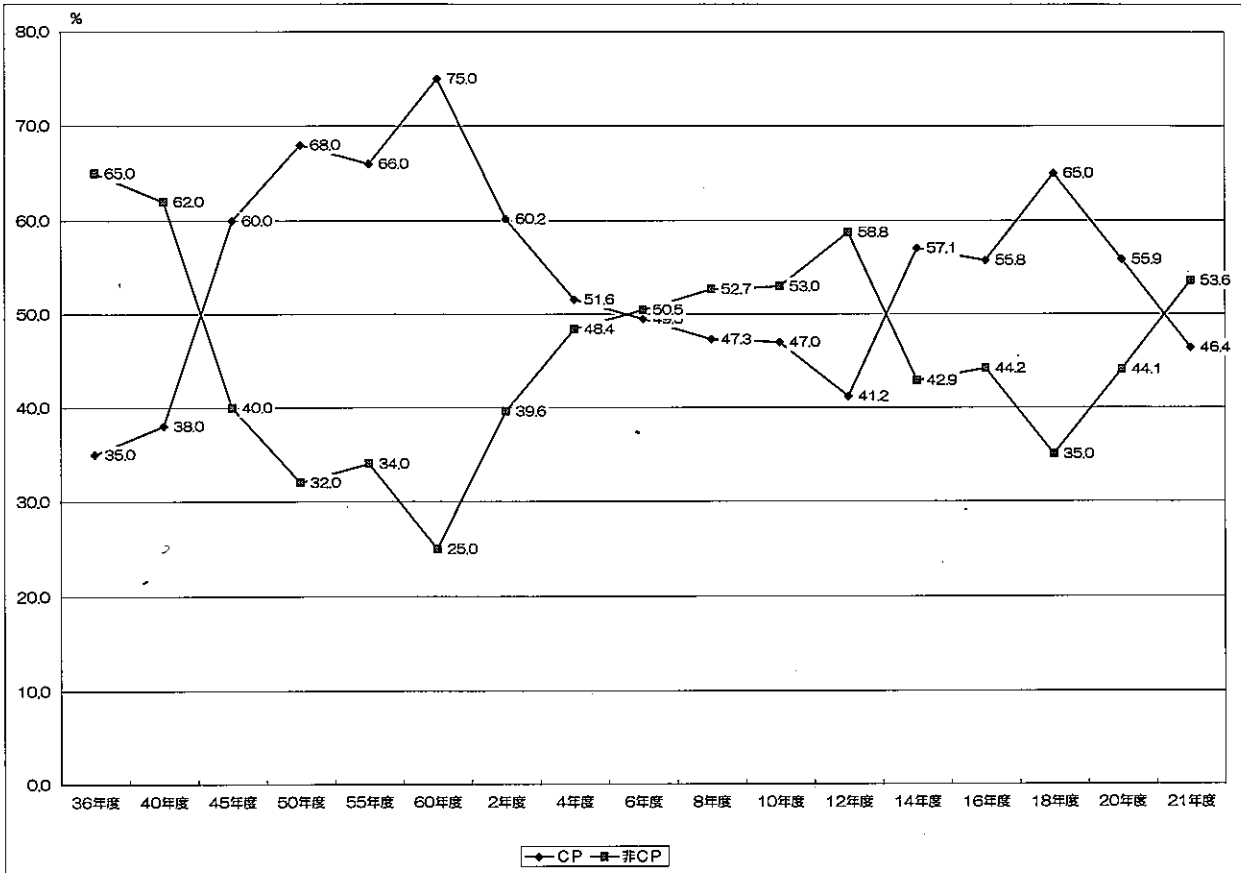
年度	区分	脳性麻痺	脊髄性麻痺	先天性 股関節脱臼	瘢痕拘縮	その他 (先天性)	その他 (後天性)	計
昭和 35	入所	8	1				1	10
	退所							0
36	入所	33	25	32	16	8	7	121
	退所	13	9	5	3	1	4	35
37	入所	13	5	12	8	22	7	67
	退所	11	13	22	8	6	7	67
38	入所	19	10	13	8	5	12	67
	退所	18	7	13	11	13	6	68
39	入所	15	11	18	6	10	7	67
	退所	18	12	11	6	14	9	70
40	入所	17	8	13	8	8	3	57
	退所	15	7	13	10	4	2	51
41	入所	24	5	16	3	7	9	64
	退所	13	11	23	6	12	6	71
42	入所	26	5	6	5	7	9	58
	退所	23	4	12	6	7	9	61
43	入所	23	2	8	10	4	6	53
	退所	20	5	10	10	5	7	57
44	入所	30	4	9	5	15	16	79
	退所	36	8	12	7	10	18	91
45	入所	34	6	11	9	13	8	81
	退所	36	5	12	9	11	13	86
46	入所	39	5	11	4	12	11	82
	退所	32	3	9	5	16	10	75
47	入所	29	5	14	1	16	11	76
	退所	32	3	10	2	13	10	70
48	入所	19	4	10	4	12	6	55
	退所	21	8	15	3	10	6	63
49	入所	20	2	14	1	14	5	56
	退所	21	3	13	2	17	8	64
50	入所	24		6	3	5	8	46
	退所	19		8	3	6	6	42
51	入所	20	3	7		9	6	45
	退所	16	2	6		12	4	40
52	入所	21		12	2	7	8	50
	退所	14	1	12	2	9	6	44
53	入所	19		8	3	9	4	43
	退所	18		5	2	7	6	38
54	入所	26		11	3	12	14	66
	退所	24		11	4	12	5	56
55	入所	16		17	2	18	11	64
	退所	15		17	1	15	13	61
56	入所	20		15	2	12	14	63
	退所	20		12	3	10	15	60
57	入所	14		20		13	9	56
	退所	13		19		15	10	57
58	入所	23		18		13	17	71
	退所	22		20		13	18	73
59	入所	13		20		16	8	57
	退所	11		25		9	9	54
60	入所	22		11	2	9	10	54
	退所	23		11	2	12	9	57
61	入所	19		14	1	9	16	59
	退所	25		12	1	5	14	57
62	入所	13		12		9	18	52
	退所	14		13		8	16	51
63	入所	13		12		12	17	54
	退所	12		8		13	16	49

年度	区分	脳性麻痺	脊髄性麻痺	先天性 股関節脱臼	瘢痕拘縮	その他 (先天性)	その他 (後天性)	計
平成 元	入所	10		11		18	7	46
	退所	22		17		20	8	67
2	入所	7		8		21	10	46
	退所	15		8		18	4	45
3	入所	14		9		22	6	51
	退所	13		8		21	9	51
4	入所	13		4		25	7	49
	退所	15		8		22	6	51
5	入所	13		10		14	6	43
	退所	18		8		17	7	50
6	入所	18		2	1	10	12	43
	退所	15		4	1	10	12	42
7	入所	19		4		14	12	49
	退所	23		4		25	8	60
8	入所	12		4		15	15	46
	退所	12		4		12	22	50
9	入所	11				8	12	31
	退所	14				7	13	34
10	入所	10		4		14	8	36
	退所	15		3		17	8	43
11	入所	9		3		5	12	29
	退所	14		4		7	8	33
12	入所	12	1	6		6	5	30
	退所	12	1	6		7	6	32
13	入所	17		2		7	10	36
	退所	14		1		12	12	39
14	入所	20		2		13	7	42
	退所	15		2		13	10	40
15	入所	23				9	7	39
	退所	25		1		5	7	38
16	入所	23		2		7	8	40
	退所	21		1		9	12	43
17	入所	13		4		1	10	28
	退所	19		5		3	9	36
18	入所	45				8	9	62
	退所	40				13	6	59
19	入所	15				4	6	25
	退所	19				4	7	30
20	入所	8		1		4	6	19
	退所	13		1		4	5	23
21	入所	8				1	4	13
	退所	14				1	4	19
計	入所	932	102	446	107	532	457	2,576
	退所	923	102	444	107	532	445	2,553
差引在籍		9	0	2	0	0	12	23

3 年齢別入所児童数の推移(単独入所のみ)



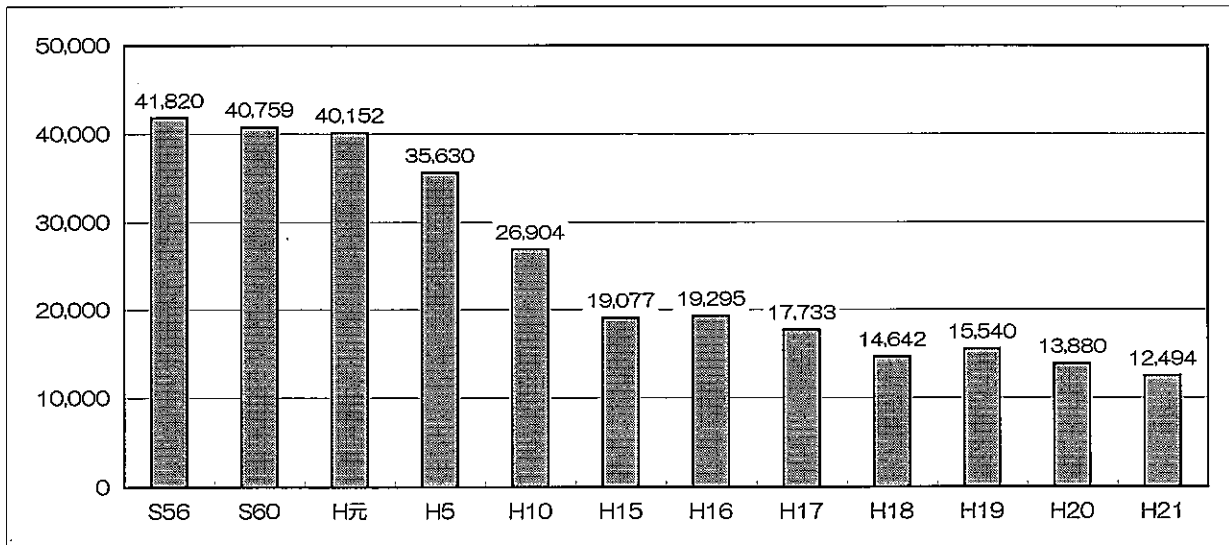
4 CP・非CP別入所児童数の推移(単独入所のみ)



5 入所診療の推移

(単位:人)

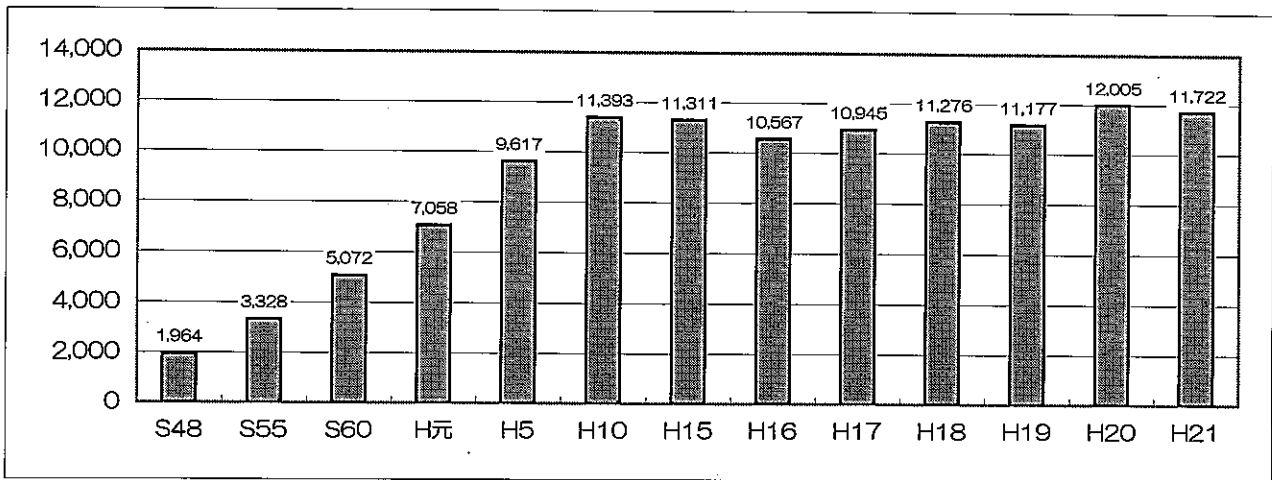
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均	指数
昭和56	3,340	3,472	3,443	3,683	3,450	3,494	3,720	3,514	3,506	3,393	3,182	3,623	41,820	114.6	100.0
57	3,253	3,781	3,512	3,597	3,594	3,378	3,633	3,524	3,354	3,126	2,887	3,236	40,875	112.0	97.7
58	3,411	3,391	3,583	3,751	3,314	3,409	3,629	3,472	3,279	3,139	3,260	3,591	41,229	112.6	98.6
59	3,099	3,391	3,369	3,465	3,236	3,055	3,210	3,182	3,068	3,137	3,081	3,400	38,693	106.0	92.5
60	3,175	3,340	3,341	3,411	3,393	3,496	3,582	3,518	3,493	3,265	3,392	3,353	40,759	111.7	97.5
61	3,190	3,314	3,409	3,398	3,270	3,246	3,686	3,323	3,430	3,389	3,121	3,568	40,344	110.5	96.5
62	3,170	3,371	3,264	3,479	3,217	3,344	3,511	3,421	3,384	3,388	3,224	3,441	40,214	109.9	96.2
63	3,393	3,500	3,467	3,476	3,393	3,308	3,496	3,484	3,565	3,642	3,292	3,708	41,724	114.3	99.8
平成元	3,466	3,331	3,416	3,448	3,427	3,292	3,454	3,353	3,414	3,327	3,118	3,106	40,152	110.0	96.0
2	2,901	3,039	3,034	3,170	3,046	3,074	3,250	3,232	3,181	3,051	2,860	3,016	36,854	101.0	88.1
3	2,828	3,040	2,884	2,928	3,008	2,719	2,967	2,976	2,995	2,906	2,860	3,110	35,221	96.2	84.2
4	2,776	2,986	3,047	3,144	2,848	2,830	2,903	2,847	2,986	3,045	2,904	3,160	35,476	97.2	84.8
5	2,739	2,936	2,906	2,947	2,392	2,913	3,189	3,156	3,340	3,271	2,912	2,929	35,630	97.6	85.2
6	2,575	2,700	2,648	2,924	2,813	2,803	3,097	2,999	3,128	3,005	2,710	2,942	34,344	94.1	82.1
7	2,556	2,756	2,782	2,958	2,787	2,604	2,618	2,602	2,668	2,610	2,560	2,569	32,070	87.6	76.7
8	2,220	2,410	2,368	2,509	2,463	2,430	2,548	2,332	2,390	2,441	2,220	2,345	28,676	78.6	68.6
9	2,374	2,395	2,349	2,412	1,976	2,402	2,319	2,341	2,377	2,365	2,192	2,325	27,827	76.2	66.5
10	2,114	2,194	2,174	2,315	2,375	2,301	2,289	2,248	2,357	2,235	2,058	2,244	26,904	73.7	64.3
11	1,800	1,836	1,822	1,795	1,851	1,804	1,866	1,909	1,866	1,822	1,789	1,849	22,009	60.1	52.6
12	1,670	1,801	1,814	1,873	1,835	1,789	1,757	1,765	1,807	1,702	1,564	1,652	21,029	57.6	50.3
13	1,609	1,659	1,791	1,871	1,790	1,829	1,814	1,804	1,887	1,787	1,663	1,702	21,206	58.1	50.7
14	1,545	1,578	1,582	1,767	1,670	1,582	1,639	1,580	1,631	1,612	1,544	1,617	19,347	53.0	46.3
15	1,570	1,717	1,613	1,673	1,677	1,623	1,664	1,544	1,446	1,589	1,434	1,527	19,077	52.1	45.6
16	1,495	1,588	1,639	1,744	1,569	1,471	1,517	1,635	1,789	1,702	1,552	1,594	19,295	52.9	46.1
17	1,365	1,517	1,349	1,548	1,550	1,548	1,569	1,590	1,539	1,469	1,304	1,385	17,733	48.6	42.4
18	1,172	1,305	1,256	1,240	1,259	1,171	1,127	1,154	1,228	1,207	1,170	1,353	14,642	40.1	35.0
19	1,281	1,400	1,526	1,406	1,342	1,269	1,284	1,166	1,269	1,212	1,128	1,257	15,540	42.5	37.2
20	1,047	1,191	1,206	1,208	1,236	1,178	1,155	1,209	1,167	1,155	1,054	1,074	13,880	38.0	33.2
21	980	1,095	1,085	1,011	1,001	992	1,137	1,101	1,101	1,065	986	940	12,494	34.2	29.9



6 外来診療の推移

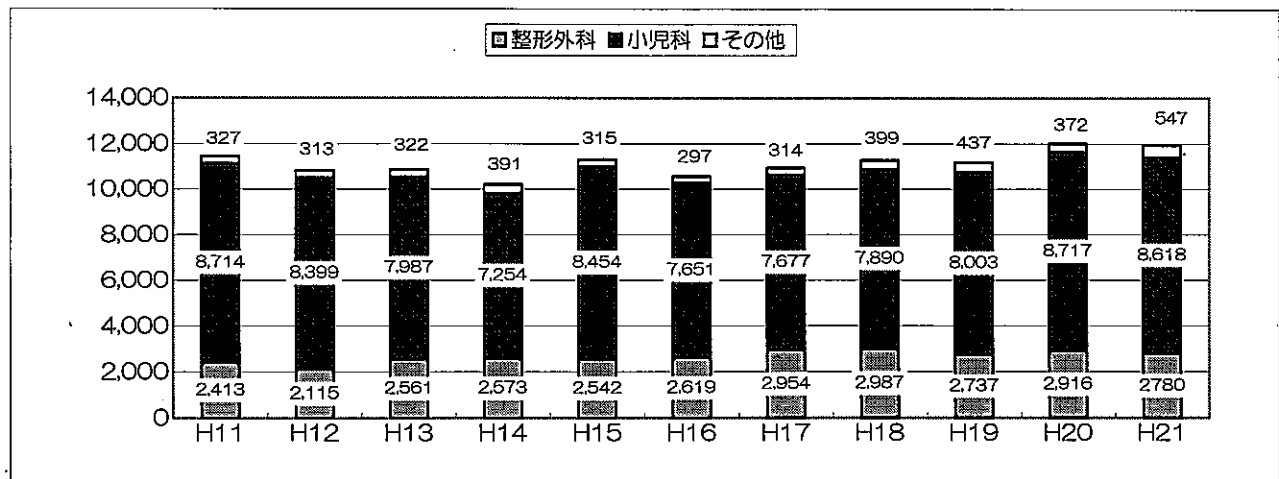
(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	指数
昭和														
48	165	175	167	160	110	114	189	102	181	204	193	204	1,964	100.0
49	192	249	258	229	80	180	276	217	159	206	193	148	2,387	121.5
50	142	191	202	191	144	168	210	193	165	123	176	202	2,107	107.3
51	157	167	154	162	130	182	102	127	123	124	157	184	1,769	90.1
52	127	156	195	191	148	187	208	231	162	156	176	204	2,141	109.0
53	165	160	222	183	183	171	165	202	161	177	270	218	2,277	115.9
54	208	221	231	228	199	216	239	218	231	171	231	242	2,635	134.2
55	276	317	273	269	254	236	265	289	247	252	322	328	3,328	169.5
56	308	293	287	378	259	283	363	318	318	322	367	383	3,879	197.5
57	321	247	339	323	299	309	347	323	377	329	329	358	3,901	198.6
58	362	355	397	407	322	355	406	410	425	367	366	366	4,538	231.1
59	392	447	400	250	382	334	402	377	399	327	414	455	4,579	233.1
60	446	462	392	415	398	420	451	376	493	375	376	468	5,072	258.2
61	463	452	395	474	374	412	401	374	422	452	366	418	5,003	254.7
62	447	421	454	467	419	460	448	406	499	392	469	528	5,410	275.5
63	466	482	488	482	495	486	490	506	548	496	513	596	6,048	307.9
平成														
元	618	548	621	608	544	591	617	592	553	474	628	664	7,058	359.4
2	650	730	706	693	614	622	769	685	693	693	693	790	8,338	424.5
3	676	768	812	819	643	673	781	817	893	730	787	776	9,175	467.2
4	802	759	805	790	680	664	808	696	729	716	754	943	9,146	465.7
5	775	689	884	834	808	781	774	867	803	715	753	934	9,617	489.7
6	871	886	938	825	887	809	883	856	914	952	908	1,059	10,788	549.3
7	859	916	918	878	872	845	874	890	1,116	879	892	886	10,825	551.2
8	932	894	900	969	799	831	901	958	1,855	940	889	1,053	11,921	607.0
9	979	976	966	949	849	847	976	818	1,026	924	1,034	1,031	11,375	579.2
10	991	931	963	1,005	850	865	1,021	869	962	878	999	1,059	11,393	580.1
11	955	883	937	950	894	903	923	1,006	993	951	947	1,112	11,454	583.2
12	933	886	874	910	924	846	908	942	1,064	828	763	949	10,827	551.3
13	880	963	894	893	919	752	983	997	907	895	848	952	10,883	554.1
14	928	902	746	823	810	795	852	1,012	856	908	855	1,001	10,488	534.0
15	909	919	942	897	892	862	1,052	951	1,080	901	917	989	11,311	575.9
16	1,037	800	882	772	873	810	875	1,081	978	794	835	830	10,567	538.0
17	864	834	919	878	971	751	903	1,142	989	813	814	1,067	10,945	557.3
18	866	852	908	914	956	857	1,038	1,191	1,063	836	821	974	11,276	574.1
19	830	842	849	862	914	722	906	1,223	1,097	857	964	1,111	11,177	569.1
20	963	878	997	999	943	915	1,153	1,179	1,181	867	835	1,095	12,005	611.3
21	944	775	956	971	897	877	967	1,191	1,262	929	861	1,092	11,722	596.8

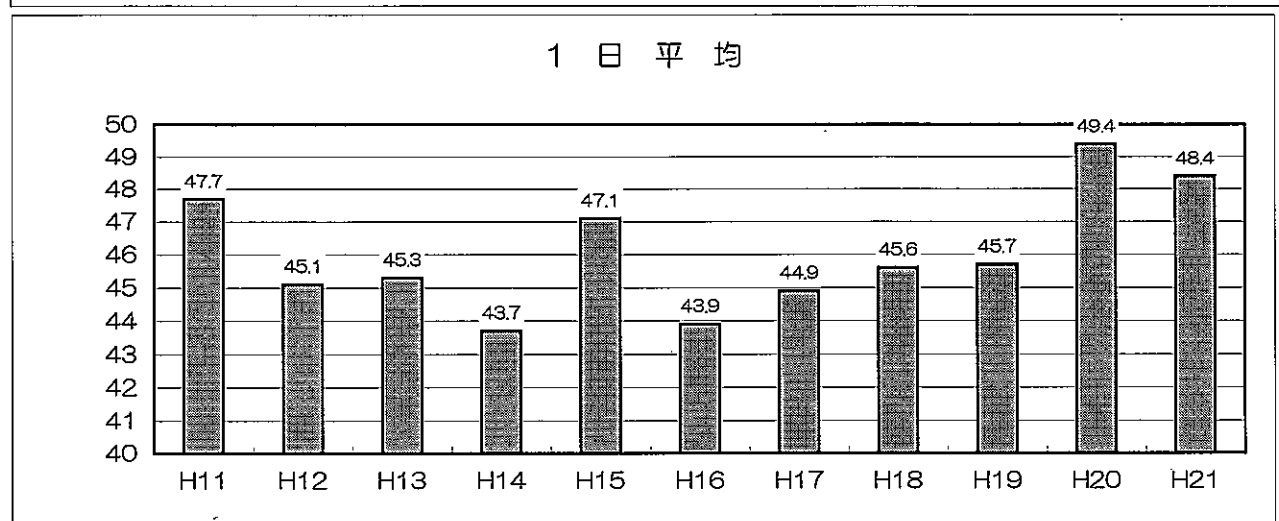


外来診療の内訳

年度区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
整形外科	2,413	2,115	2,561	2,573	2,542	2,619	2,954	2,987	2,737	2,916	2,740
1日平均	10.0	8.8	10.7	10.7	10.6	10.9	12.1	12.1	11.2	12.0	11.3
小児科	8,714	8,399	7,987	7,254	8,454	7,651	7,677	7,890	8,003	8,717	8,618
1日平均	36.3	35.0	33.3	31.4	35.2	31.8	31.5	31.9	32.7	35.9	35.6
その他	327	313	322	391	315	297	314	399	437	372	364
1日平均	1.4	1.3	1.3	1.6	1.3	1.2	1.3	1.6	1.8	1.5	1.5



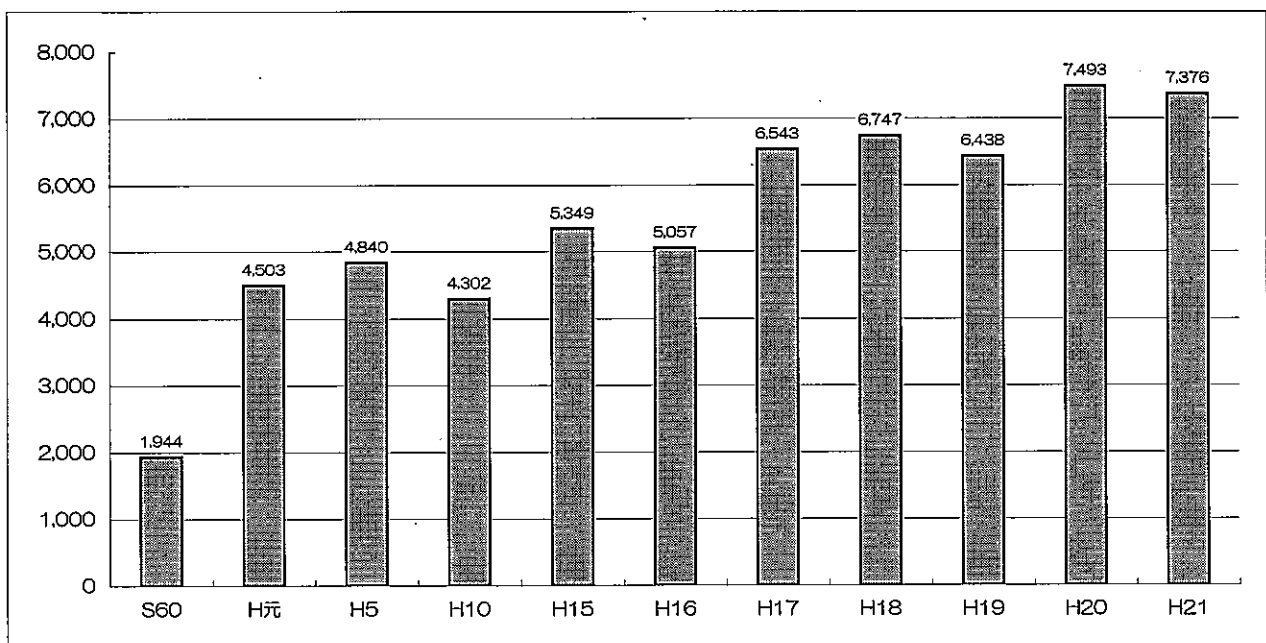
1日平均



7 外来訓練の推移

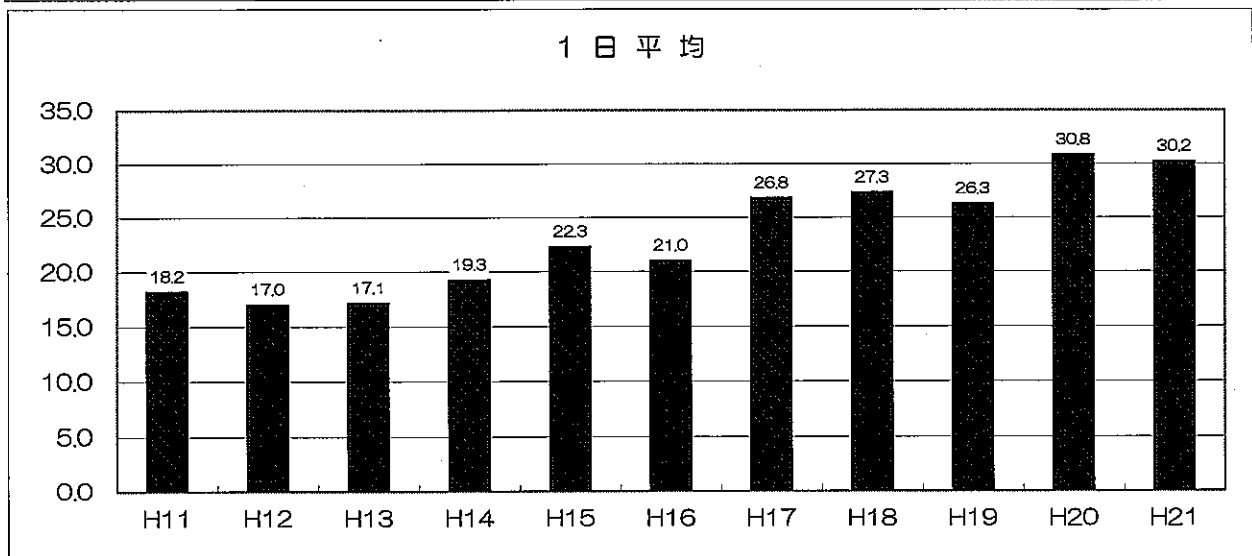
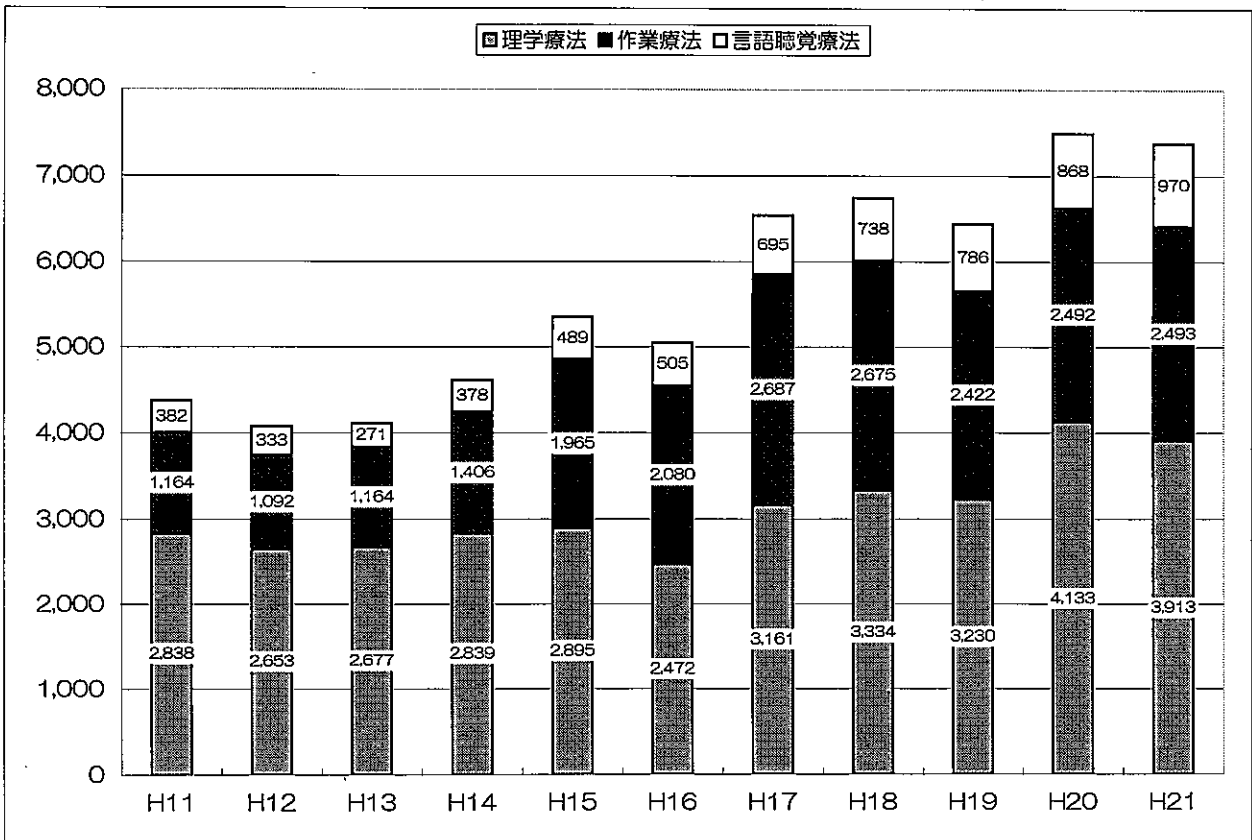
(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	指数
昭和60	160	175	170	188	163	174	187	132	154	151	137	153	1,944	43.2
61	173	177	164	188	186	165	176	147	147	144	136	174	1,977	43.9
62	266	265	275	266	298	300	299	269	270	250	303	304	3,365	74.7
63	300	327	334	370	362	382	348	366	332	329	349	374	4,173	92.7
平成元	396	316	344	357	379	429	414	408	371	313	390	386	4,503	100.0
2	429	252	280	277	240	282	291	327	288	299	282	342	3,589	79.7
3	352	369	343	419	355	326	397	403	356	366	342	393	4,421	98.2
4	421	390	411	424	351	284	331	302	292	310	347	400	4,263	94.7
5	397	359	459	464	498	370	393	370	346	341	385	458	4,840	107.5
6	428	427	432	393	461	326	296	290	339	339	390	370	4,491	99.7
7	380	368	349	417	361	350	395	326	295	316	333	329	4,219	93.7
8	287	260	217	339	322	274	325	322	295	318	286	345	3,590	79.7
9	348	355	336	397	385	306	403	298	339	326	303	360	4,156	92.3
10	362	357	375	443	355	340	348	303	337	370	362	350	4,302	95.5
11	385	318	381	362	391	367	337	342	335	355	372	439	4,384	97.4
12	333	298	324	320	392	343	395	335	326	330	353	329	4,078	90.6
13	356	346	367	355	420	302	360	341	310	328	293	334	4,112	91.3
14	351	398	356	410	424	348	397	393	340	405	377	424	4,623	102.7
15	414	450	444	480	442	461	503	379	392	435	441	508	5,349	118.8
16	417	383	416	400	403	457	406	450	380	448	413	484	5,057	112.3
17	488	491	540	523	553	541	584	553	517	572	547	634	6,543	145.3
18	594	575	646	575	552	547	593	566	477	581	549	492	6,747	149.8
19	416	554	585	614	523	475	597	619	498	527	538	492	6,438	143.0
20	595	584	651	696	516	643	705	541	641	618	601	702	7,493	166.4
21	660	580	674	701	574	589	599	587	469	658	576	709	7,376	163.8



外来訓練の内訳

年度区分		11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
理学療法		2,838	2,653	2,677	2,839	2,895	2,472	3,161	3,334	3,230	4,133	3,913
	1日平均	11.8	11.1	11.2	11.8	12.1	10.3	13.0	13.5	13.2	17.0	16.0
作業療法		1,164	1,092	1,164	1,406	1,965	2,080	2,687	2,675	2,422	2,492	2,493
	1日平均	4.8	4.6	4.9	5.9	8.2	8.6	11.0	10.8	9.9	10.3	10.2
言語聴覚療法		382	333	271	378	489	505	695	738	786	868	970
	1日平均	1.6	1.4	1.1	1.6	2.0	2.1	2.8	3.0	3.2	3.6	4.0



8 短期入所・日中一時支援事業の利用状況

(1) 短期入所利用状況

年 度	登 録 者 数 a	利 用 実 人 員 b	件 数	利 用 延 べ 日 数 c	利用率(%) b/a	指数	
						a	c
H3	30	15	30	192	50.0	100.0	100.0
H4	30	17	25	402	56.7	100.0	209.4
H5	64	20	34	178	31.3	213.3	92.7
H6	79	27	73	421	34.2	263.3	219.3
H7	79	31	52	338	39.2	263.3	176.0
H8	94	34	65	323	36.2	313.3	168.2
H9	113	40	106	455	35.4	376.7	237.0
H10	121	48	113	512	39.7	403.3	266.7
H11	124	41	179	578	33.1	413.3	301.0
H12	105	49	168	549	46.7	350.0	285.9
H13	108	51	294	633	47.2	360.0	329.7
H14	104	52	524	931	50.0	346.7	484.9
H15	95	69	835	1,718	72.6	316.7	894.8
H16	128	79	1,101	1,873	61.7	426.7	975.5
H17	115	83	1,483	2,075	72.2	383.3	1,080.7
H18	117	92	895	1,464	78.6	390.0	762.5
H19	96	40	122	454	41.7	320.0	236.5
H20	145	29	82	301	20.0	483.3	156.8
H21	102	24	62	224	23.5	340.0	116.7

※ 平成18年度の10月から(2)の日中一時支援事業が分離された。

(2) 日中一時支援事業利用状況

年 度	利 用 実 人 員	延 べ 利 用 者 数	利 用 延 べ 日 数
H18	34	86	352
H19	56	220	917
H20	45	206	734
H21	47	205	810

